

# コミュニティ・スクール 実践集2024



令和7(2025)年3月  
名張市教育委員会

## 目 次

はじめに

名張版コミュニティ・スクール . . . . 1

コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ . . . . 5

名張版コミュニティ・スクールの取組

■名張小学校 学校運営協議会 . . . . 8

■蔵持小学校 学校運営協議会 . . . . 12

■薦原小学校 学校運営協議会 . . . . 15

■比奈知小学校 学校運営協議会 . . . . 19

■美旗小学校 学校運営協議会 . . . . 24

■箕曲小学校 学校運営協議会 . . . . 28

■錦生赤目小学校 学校運営協議会 . . . . 31

■桔梗が丘小学校 学校運営協議会 . . . . 36

■桔梗が丘南小学校 学校運営協議会 . . . . 39

■桔梗が丘東小学校 学校運営協議会 . . . . 43

■すずらん台小学校 学校運営協議会 . . . . 46

■梅が丘小学校 学校運営協議会 . . . . 50

■百合が丘小学校 学校運営協議会 . . . . 53

■名張中学校 学校運営協議会 . . . . 57

■赤目中学校 学校運営協議会 . . . . 63

■桔梗が丘中学校 学校運営協議会 . . . . 67

■北中学校 学校運営協議会 . . . . 70

■南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）学校運営協議会 . . . . 74

付録：コミュニティ・スクールだより . . . . 79

## は じ め に

名張市では、令和2年に市内全小中学校がコミュニティ・スクールとなり、令和6年で5年目を迎えています。名張版コミュニティ・スクールのさらなる推進と充実に向け、今年度も市内18の学校運営協議会では、めざす子どもの姿を学校・家庭・地域が共有し、子どもの豊かな育ちと学びのために、知恵を出し合い、力を合わせて学校運営に取り組んできました。

今年度は、昨年度の取組の特徴であった「学校運営協議会への児童生徒の参加」がさらに充実しました。児童生徒の思いを学校運営協議会委員に直接届けることができ、より良い学校を作っていくのだという児童生徒の主体性の向上もその効果として挙げられます。

また、委員と教職員との熟議や懇談も各運営協議会で工夫して行われ、放課後や夏休み中を利用し、全教職員との懇談をしたり、テーマを明確にして熟議を行ったりしました。教職員全員は難しくとも、コミュニティ・スクール担当教員はもちろん、各学年担当の教員やPTA担当など、複数の教職員が参加する学校もあり、持続的な推進体制の構築と若手の人材育成も進めています。ともに子どもを育てていくためには、学校と地域の信頼関係を築くためのコミュニケーションの場が必要です。熟議などを通して、教職員の声を委員に直接届けることで、地域や保護者の協力が得られ、どんな子どもをめざすのか、育てるのかという目標について共有し、教育活動を充実させることができます。

さらに今年度は「子どもの居場所づくり」が話題になる学校が多くありました。今、学校が直面している、抱えている課題について、学校側が率直に委員に伝え、学校としての困り感を委員と共有することが重要です。教室に入りづらくしんどい思いをしている子どものこと、様々な事情で学習環境が整わず、困っている子どものことなど、学校や地域で子どもの居場所づくりについてできることはないかと、その方法について話したり、考え合ったりすることができました。そして、委員が地域住民と学校をつなぎ、学校内での居場所づくり支援や、地域学校協働活動として学校外での居場所づくりの取組も実現しています。

今後もコミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的推進に向け、学校運営協議会のさらなる活性化を目指し、その内容を充実、発展させていくことが大切です。

この「コミュニティ・スクール実践集2024」は、本年度の各コミュニティ・スクールの特色ある実践を集めたものです。様々な工夫をしながら取り組んだ各校の実践に学び、来年度以降の取組をどのように進めていくのかをともに考えていきたいと思えます。

令和7年3月

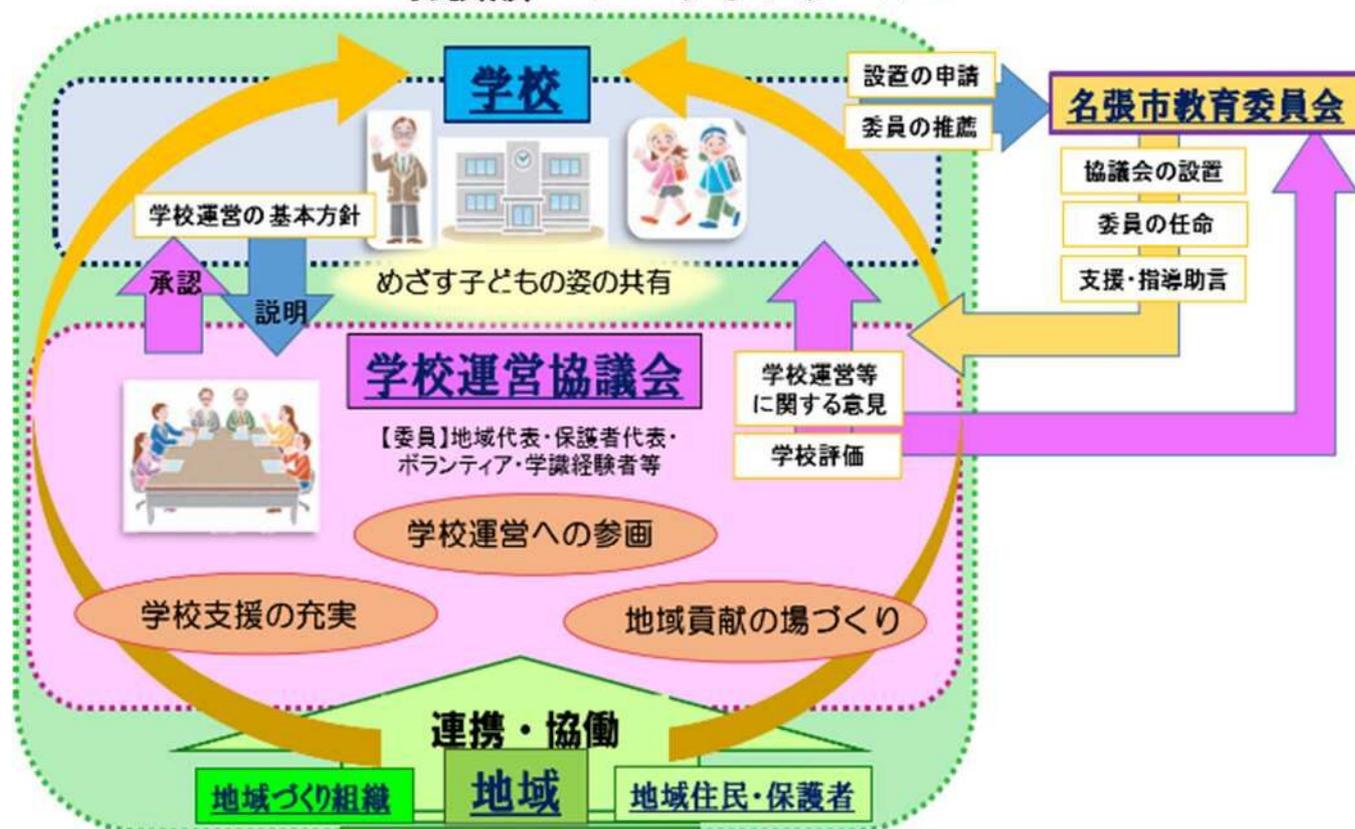
名張市教育委員会

## 名張版コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、未来を担う子どもたちの豊かな成長のために学校・地域・保護者が連携・協働し、それぞれが、自分たちに何ができるか当事者意識をもって子どもたちの成長を支えていく仕組みです。子どもを取り巻く環境は今後、大きく変化していくものと考えられ、これからの時代を生きる子どもは、一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的にたくましく切り拓いていく力や人と繋がり、共に学び合い、支え合って豊かな未来の社会を築いていく力が求められます。

名張市では、市内すべての小中学校が学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）です。名張版コミュニティ・スクールの特徴は、「学校運営」「学校支援」「地域貢献」を3つの柱として取組を進めていることです。それぞれのコミュニティ・スクールでは、学校・保護者・地域住民が、めざす子どもの姿を共有し、地域の子どもの「学び」と「育ち」に係わる当事者として、連携・協働した取組を実施しています。

### \*名張版コミュニティ・スクール\*



## 【名張版コミュニティ・スクール 3つの柱】

### ① 学校運営への参画

市内のコミュニティ・スクールでは、学校と保護者や地域の皆さんが互いに知恵を出し合い、学校運営へ意見を反映させています。学校運営協議会においてめざす子どもの姿を共有し、課題解決等に向けて教育課程・授業改善・学校評価等の学校運営に参画しています。小中一貫教育カリキュラムである「英語教育」や「ふるさと学習『なばり学』」「キャリア教育」実施への協力など、小中一貫教育の教育活動へも参画しています。

学校運営方針の承認



めざす学校像実現のための熟議



授業参観



「なばり学」実施の協力



子どもの思いを聴く



教職員との熟議



## ② 学校支援の充実

名張市では、平成17年度から学校支援ボランティアの登録制度を設け、平成20年度以降、国の学校支援地域本部事業を受けるなど、学校支援の仕組みを構築してきました。コミュニティ・スクールの設置により、めざす子どもの姿の実現のための学習支援・部活動支援・環境美化・安全確保支援等の学校支援体制がさらに充実してきています。

算数科学習支援



生活科学習支援



環境整備支援



夏休み居場所づくり支援



社会科学習支援



補充学習支援



家庭科指導補助



読み聞かせ



プール清掃補助



### ③ 地域貢献の場づくり

名張市内それぞれの地域づくり組織では、将来計画である「地域ビジョン」を策定しています。「地域ビジョン」には、地域づくり活動への参画や地域の担い手づくりに向けた、さまざまな活動が盛り込まれています。

コミュニティ・スクールでは、「地域ビジョン」を共有し、地域を愛し地域を担う人づくり、地域の絆づくりのため、まちづくり活動への参画や地域と学校合同の防災訓練、地域の清掃活動など、学校の特色を生かした地域貢献の場づくりを行っています。子どもたちが今住んでいる地域のことを知ることは、地域を担う人づくり、絆づくりにつながるとして、地域学習へも積極的に取り組んでいます。

地域イベントへの参画

地域清掃活動

防災訓練参加



避難所開設

地域と連携した挨拶運動

地域学習



地域祭への参加

地域伝統の継承

敬老会への参加



## コミュニティ・スクール から スクール・コミュニティへ



コミュニティ・スクールの取組の中で、学校は、地域住民の力をお借りし、地域学習に取り組んでいます。子どもは、農業体験や行事への参加を通して、ふるさとの自然や産業、歴史、文化等に触れるとともに、その学習に関わっていただいた地域の方とふれあい、絆を深める機会を得ています。これからの地域を支える子どもが、小中学生時代に地域の方々と触れ合い、様々な経験をすることは、少子・核家族化が進み異年齢とのコミュニケーションの機会が減っている子どもにとって、とても有意義な機会となっています。

また、地域の方々は、学校教育活動に参画し、ボランティアとして学校支援に携わることで、楽しみややりがいを感じています。さらに、子どもや教職員は、地域の方々に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを伝えることができます。卒業した子どもの中には、「地域の方々のように自分も誰かの役に立ちたい」「地域に貢献したい」という思いを持っている子どももいます。学校という場において、このような温かな交流がもたれていることは、子どもの豊かな心の醸成のためにも地域の人づくりのためにも好影響を与えるものと考えます。



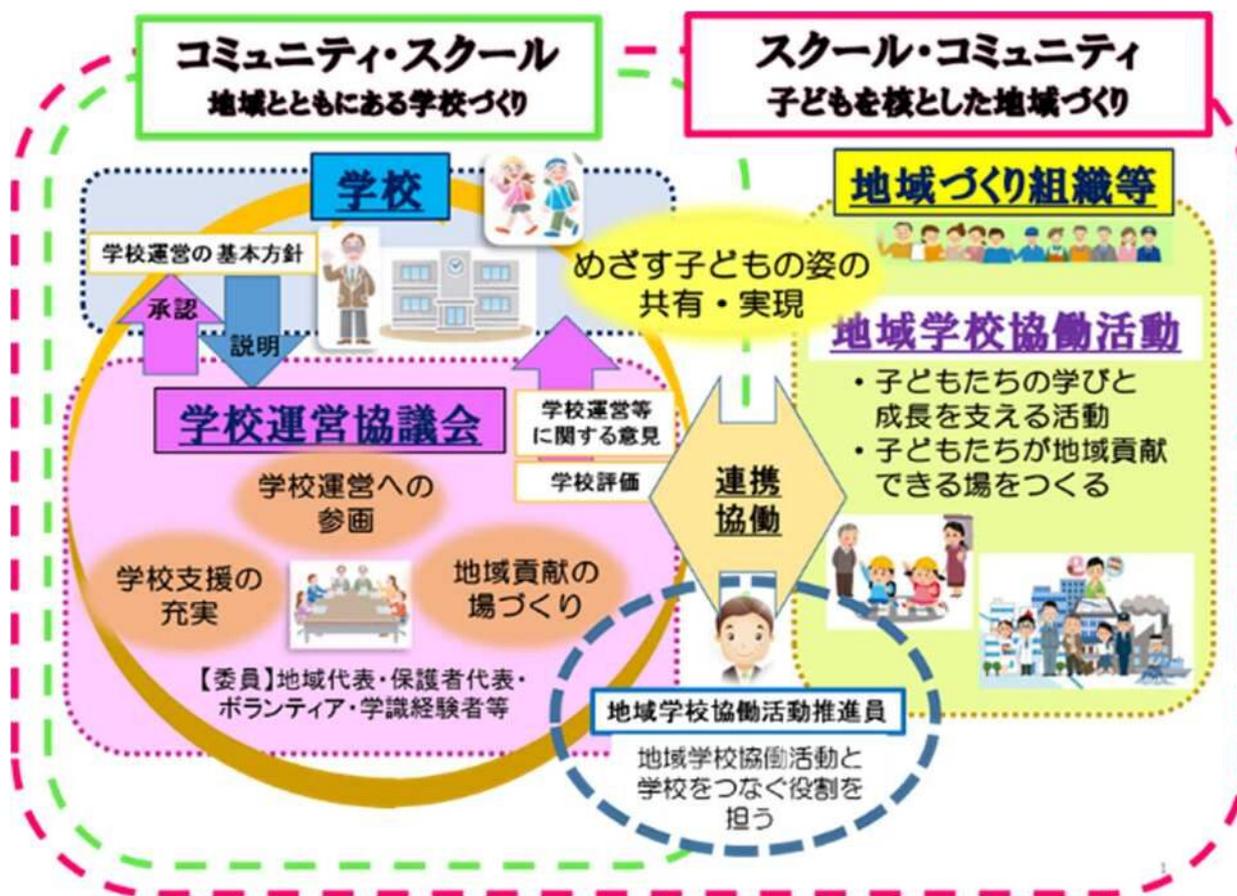
少子高齢化の進行による人口減少社会とともに、グローバル化や急速な技術革新に伴い予測不可能で変化の激しい時代が到来しています。未来を担う子どもの豊かな成長のためには、学校と保護者・地域住民が連携・協働した取組を充実させていくことが必要です。



本市では、学校が主体となって行う教育活動とは別に、地域づくり組織等が学校と連携・協働して「地域学校協働活動」を推進し、コミュニティ・スクールから発展させた子どもを核とした地域づくりである「スクール・コミュニティ」の体制を構築していきたいと考えています。

## 【スクール・コミュニティとは】

スクール・コミュニティとは、子どもを核とした地域づくりのことで、地域づくり組織等では、これまでも、子どもの健やかな育成をめざした様々な活動を実施していただいています。スクール・コミュニティは、これら子どもたちの学びと成長を支える活動や子どもたちが地域貢献できる活動（※地域学校協働活動）を学校運営協議会と協働して、より充実していこうとする仕組みです。地域学校協働活動を学校運営協議会と連携・協働しながら一体的に推進し、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを持続発展させていこうとする子どもを育成し、地域の活性化をめざします。



## 【地域学校協働活動とは】

地域学校協働活動とは、「子どもを核とした地域づくり」をめざし、地域住民・保護者等の参画を得て実施する、子どもたちの学びと成長を支える活動や地域貢献活動のことです。

### 地域学習・職場体験学習

- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする活動。
- ◆地域の産業についての職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習等。



### 地域の行事等への参画

- ◆地域の行事、イベントのボランティア参加・企画からの参画。
- ◆伝統行事での伝統文化・芸能の発表。
- ◆地域の防災訓練への参画等。

### 学校に対する様々な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、本の読み聞かせ、授業補助や部活動の支援、企業等の教育プログラムの提供等



### 放課後子ども教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後等に行う学習や体験・交流といった様々な活動。

### 家庭教育支援活動

- ◆家庭教育について、保護者が学び合う機会づくり等。

### 地域未来塾

- ◆中学生等を対象に、教員OBや高校生・大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援活動。

# 名張版コミュニティ・スクールの取組

## 名張小学校

### 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年6月4日（火）18時30分～20時〉

- ① 会長・副会長の選出と委嘱状交付
- ② 学校運営協議会組織について
  - ・今年度も部会制ではなく全員で協議していくことを確認しました。
- ③ 学校経営計画、学校教育計画、年間行事予定の承認
- ④ コミュニティ・スクール推進計画について
  - ・令和5年度の実践報告書を元に、本年度の推進について協議しました。
  - ・子どもへの支援、学校環境の整備などについて学校支援ボランティアや地域の協力を得ていくこととなりました。
- ⑤ 「名小版なばり学」について
  - ・「名小版なばり学」の取組と地域行事等との関係が一目でわかる「名小CSカレンダー」（下図参照）をもとに、「名小版なばり学」推進への地域から協力いただくこと、や本年度のコミュニティ・スクール推進について共通理解を図りました。
- ⑥ 名張小学校創立150周年記念事業について
  - ・「名張小学校創立150周年記念事業実行委員会」（多くの委員が兼任及び協力）の150周年記念事業実施に係る進捗状況を共有し、本年度に引き続いている、百年の森整備事業の進捗や5月に実施予定の百年の森再整備記念式典について共有しました。

令和6年度 名張小学校『名小版なばり学』～なばりのええとこ見つけ隊～ 名小CSカレンダー 5月22日現在												
各学年「なばりのええとこ見つけ隊」は、地域のボランティアや地域のゲストティーチャー、地域の施設等と連携 ※各学年計画は、学習の進捗につれ変更あり												
月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	させつともたち(全31時間)											
	公園 町のよさ	公園 町下川 高い山を 町のよさ				公園 名張川 ひやわい 空版・地域に発信			公園 名張川にすむ生き物 季節の移り変わり		まちのよさ	
2	なばり すてき はっけん(全61時間)											
	探検の計画		町たんけん			探検の計画	もういちど町たんけん		地域のよさをまとめる		かんたんな発表	心りがえり
3	なばりのまちたんけん(全30時間)											
	図書館、名張市の公共施設					探検について			なばりについて、発表はついで		えびす祭り(けっさよ・七福神)	
4	なばりの町づく(全32時間)											
	なばり探検隊「なばりらんど」 BSGなばり、おんぼろ	総合情報センターふれあい			できること考える		お年寄りと交流		地域貢献のためにできること			
5	深掘りしよう、なばりの産業(全40時間)											
	伊豆米づくりと人・名産の工業	見学と出会い			働く人との出会い(仕事や地域への思い)			まとめと発信				
6	なばりのええ人伝え隊(全23時間)											
	フィールドワーク「なばりらしさ」をみつける、まとめる					見学とインタビュー			働く人の思い、働くことの意味		発信にできること、自分のよさ、地域の発信 発信	
運営協議会 のフォローアップ			第1回					第2回				第3回
	(年間を通じて)		教科ボランティア		図書ボランティア			書下校見守り		校区探検見守り		環境美化
地域行事	宇流湯支福神社 社春祭り(竹 行灯)				やなせ祭り 城下川竹行灯			宇流湯市 名張秋祭り 城下川竹行灯				学園祭
	2年の9～10、10～11月 → 湯原家持・城下川・大和町・田中町・やなせ ・新町温泉・はなびし編・緑町の公園・五歩公園・新田公園・ 製紙屋・宇流湯支福神社・城下川・湯原家持・平原山カヌエーバー ク・とれたて名産交流館・かばらや公園・ブルースト菓子店				5年の6～7月 → 湯原家持・オキツモ・木原正清造・田 田ファーム・伊賀牛農産物店・豊岡涼上・谷松石材・ 協内自動車・給食関係の商店・かたやき店 など				6年の9～12月 → やなせ宮・川地写真館・藤堂家邸・新 町温泉・市役所・木原正清造・五歩公園・城下川・大和 町・宇流湯支福神社・とれたて市場・ブルースト菓子店			

【第2回】学校運営協議会〈令和6年11月1日（金）14時30分～16時00分〉

① 6年生児童と委員との交流

・6年生児童がアンケートでまとめた名張小学校をより良くするための願いをもとに、委員の皆さんと交流しました。「遊具を増設してほしい」や「通学路で危ないところがある」など、今後につながる交流ができました。

② 学校運営の状況について

・現在学校の抱えている課題について共有しました。地域でも、児童への声かけや見守りを行っていくよう共通理解しました。

③ 全国学力・学習状況調査結果より

・令和6年度の名張小学校の調査結果についての説明の後、今後の学校の取組について共有しました。

④ 「名小版なばり学」の進捗状況について

・「名小CSカレンダー」をもとに、今年度の「名小版なばり学」の進捗状況を共有しました。

⑤ 令和7年度の行事予定について

・令和7年度は、市の指定の研究発表会を11月に予定していることや、近年の温暖化による状況から運動会を5月に行うことについて説明、共有しました。

【第3回】学校運営協議会〈令和6年12月26日（木）18時～19時〉

① 学校運営の状況について

・現在学校の抱えている課題について共有しました。学校と地域の連携について協議しました。

【第4回】学校運営協議会〈令和7年2月28日（金）18時～19時30分〉

① 本年度の総括

② 次年度に向けて

【創立150周年に関するコミュニティ・スクールとしての取組】

一昨年、学校運営協議会委員やPTA、同窓会、地域関係者、学校による名張小学校創立150周年記念事業実行委員会が立ち上げられ、昨年度、学校と地域が一体となって150周年記念式典等の事業を行いました。本年度、100周年時に整備された百年の森の整備事業が継続となりましたので継続して整備を進めるとともに、5月23日（木）に百年の森再整備記念式典を行いました。



6年生児童と委員との交流



百年の森再整備記念式典

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1) 【学校運営への参画】

- ① 学校経営計画等の承認をいただくとともに、学校経営の方向性について、情報共有を行い、コミュニティ・スクールの推進に係り地域と一体となって行う取組について、ともに考えています。
- ② 「名小版なばり学」の学習を通しての名張を愛する児童の育成について、学校・地域・保護者が協働して行う取組について議論しています。
- ③ 学校評価について協議し、「学校評価書」としてまとめる予定です。

### (2) 【学校支援の充実】

登下校の見守り、「名小版なばり学」におけるゲストティーチャー、校区探検等の付き添い、家庭科等の教科の支援、クラブ活動の指導、読み聞かせ、学校行事支援、環境整備等でボランティア活動など、多くの学校支援を実施していただきました。また、不登校傾向児童や、学習時の児童支援のための「よりそいボランティア」を昨年度学校運営協議会の意見をもとに立ち上げ、本年度も継続して実施していただいています。



登下校の見守り



ゲストティーチャー



クラブ活動



校区探検付き添い



出前授業



本の読み聞かせ



環境整備支援

### (3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 「名小版なばり学」において、児童が地域に出かけ、地域を学び、地域で学ぶ姿を地域の方々に見ていただくことが、地域をよりよくしていこうとしている方々の力になればと考えています。
- ② 「名小版なばり学」における学習の成果として「お店の紹介ポスター」を作ったり、発信したりしていくなどの取組が、名張の活性化の一翼を担えればと考えています。
- ③ 地域に協力して名張の秋祭りへの児童参加を呼び掛けました。名張学園祭では、5、6年生の有志が参加し、学習の一端を披露することで、学園祭を盛りあげることに貢献できました。
- ④ 総合福祉センターふれあいにて、4年生がお年寄りとふれあったり、学習成果を披露したりすることで、地域の方との交流を深めました。



みこしを担ぐ児童



だんじりにのる児童



ふれあいでの交流

### 3. 成果と課題

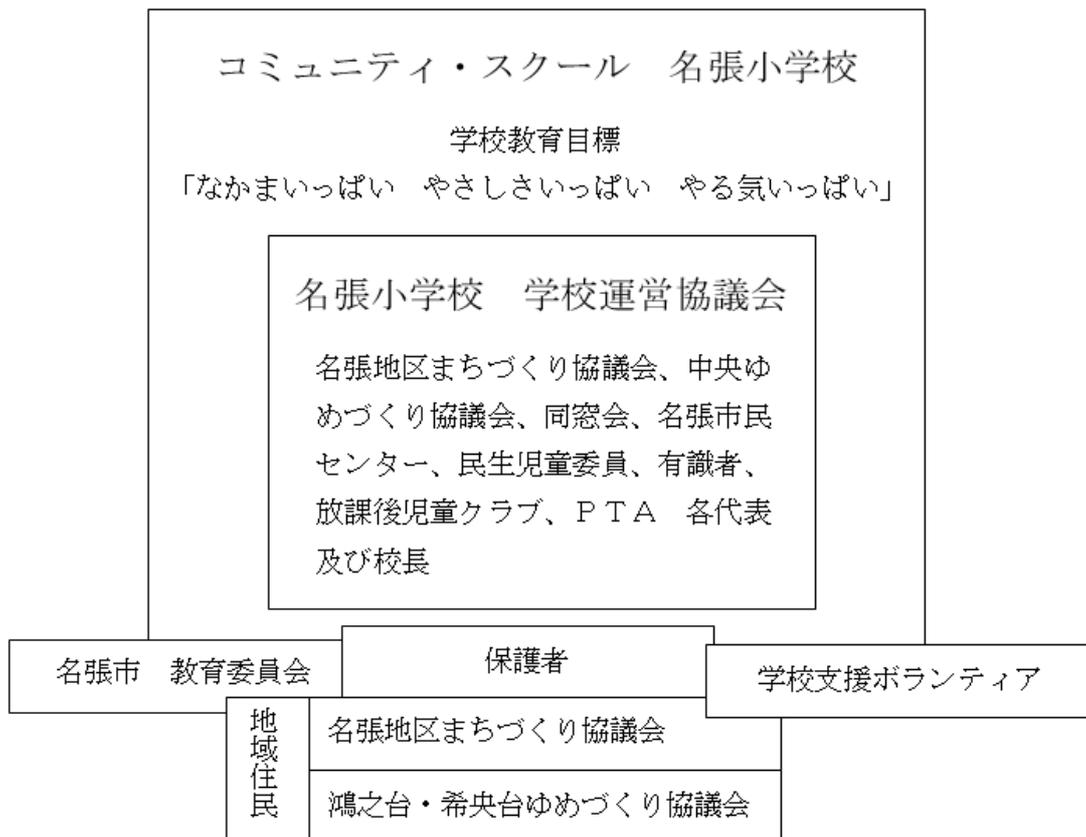
#### 【成果】

- ◇「名小版なばり学」において、全校児童が地域に出向いて学習することにより、これまでに引き続いて地域の方々と触れ合う機会が増えています。また、学校の取組を支援してくださる方も増え、より一層地域と学校の一体感が生まれるように発信していきたいと考えています。
- ◇運営協議会に児童が参加し、委員の皆さんからの声かけをいただいたことで児童にもいい影響があったと同時に、委員の皆さんにも、子どもの気持ちを知ることができたことと好評であったことから、今後方法工夫しながら継続していきたいと考えています。
- ◇ボランティアの方々に、様々な場面で協力いただけたことで、子どもたちの学びの成果につながりました。また、安心・安全な活動を行うことができ、教職員の負担軽減にもつながりました。
- ◇名張秋祭りや名張学園祭への参加で、子どもたちのよさやがんばりを地域に広く発信することができました。

#### 【課題】

- ◆学校が行っている行事の地域への発信方法を工夫していくことで、地域への浸透を図り、コミュニティ・スクールとしての位置づけを確かなものにしていく必要があります。今年は、「名小版なばり学」に係る児童の発表会「バリバリ集会」を参観できるようにしましたが、さらに工夫していきたいと考えています。
- ◆地域貢献の場づくりについては、地域の理解を得るとともに、教員の負担増にならないようにすることも考え、行っていく必要があります。
- ◆ボランティアに関しては、協力いただける方を増やしていくことを考えると同時に、後継者のことも視野に入れた運営をしていく必要があります。

#### ・学校運営協議会の組織図



※図の重なりは、連携・協働を表しています。

# 蔵持小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会（令和6年5月24日(金) 13時45分～15時00分）

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付及び会長・副会長選出
- ③ 令和6年度学校運営について
- ④ 「学校・地域 協働活動年間計画」の確認及び今後の活動方針
- ⑤ 情報交換

【第2回】学校運営協議会（令和6年11月1日(金) 14時00分～16時30分）

- ① 授業参観・6年生児童との懇談
- ② 学校評価アンケート結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査の結果と分析について
- ④ 児童との懇談を受けての意見交流
- ⑤ 「児童より地域へのお願い」について

【第3回】学校運営協議会（令和7年2月21日(金) 15時00分～16時30分）

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 令和6年度学校評価書について
- ③ 児童との懇談を通じた取組の確認
- ④ 来年度の学校運営について  
「学校・地域 協働活動年間計画」の修正・確認



学校運営協議会

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1) 【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観、学校運営（基本方針等）の承認。
- ② 6年生児童との懇談を通して児童の思いや成長の様子を確認し、今後の取組や支援について協議。
- ③ 年度ごとの児童支援に係る「学校・地域 協働活動年間計画」の検討、確認。
- ④ 児童・保護者・教職員アンケート結果及び全国学力・学習状況調査等の結果からみえてきた課題の共有と今後の取組について協議。
- ⑤ 学校評価について協議、「学校評価書」としてまとめ、確認。



児童との懇談：「蔵持小をどんな学校にしたいか」

～自分たちができること。地域の皆さんに手伝ってほしいこと～

## (2)【学校支援の充実】

### ①学習支援

「学校・地域協働活動年間計画」に基づき、米作りの体験授業(田植え、稲刈り)、さつまいも作り、地域の施設見学、地域の歴史学習、防災学習など、地域住民や支援ボランティアから計画的な学習支援と、定期的に支援ボランティアによる「読み聞かせ」を実施。



田植え体験

### ②交通安全

学校支援ボランティアを中心に日々の児童の登下校の見守りや名張警察、地域の「見守り隊」の方々と連携し「交通安全教室」を開催。

### ③環境整備

学校運営協議会委員、地域老人会の寿会及び地域ボランティアがPTA環境整備作業へ参加し、また月に一度、ボランティアによる運動場の除草作業も実施。図書ボランティアによる定期的な図書室の環境整備も実施。



「蔵持の歴史」をろう

### ④居場所づくり

蔵持地区市民センターにおいて、夏休みや冬休みなどの自習室の開放や工作講座の実施など、長期休業中における子どもの「居場所づくり」の協力を依頼。また今年度、新たに市民センター主催の子ども向けイベントも開催され、多くの児童が参加。



蔵持消防団との防災訓練

## (3)【地域貢献の場づくり】

①「蔵持市民センター祭」展示会に児童の絵画等の作品を出品するとともに「センター祭」発表会（地域文化祭）を本校を会場に実施。本校全児童も参加し、合唱を披露。

②蔵持消防団及び蔵持まちづくり委員会 防災部会主催の「地域防災教室」に4年生児童が参加。名張市総合防災訓練にも蔵持消防団との搬送訓練・防災グッズづくりを実施。

③蔵持市民センター主催の「高齢者学級」に1年生児童が参加し、昔遊びの発表や昔の暮らしについての質問、ゲーム等で高齢者との交流を深めた。

④蔵持地区まちづくり委員会、緑が丘コミュニティバス運営協議会、三重交通、名張市都市計画室による「バスの乗り方教室」に2年生児童が参加。

⑤蔵持獅子神楽保存会による「蔵持獅子神楽」を鑑賞。保存会に参加している本校児童が全校児童の前で「子ども天狗」の舞を披露。

⑥児童による地域のゴミステーションへのゴミ分別に関するポスター啓発。

⑦登下校や環境整備、学習支援や施設見学等でお世話になったボランティア、地域施設の方々に、学期ごとに子どもたちからのお礼の手紙を届けた。



蔵持市民センター祭への参加



地域への「ゴミ分別」啓発ポスター



「蔵持獅子神楽」への児童参加

### 3. 成果と課題

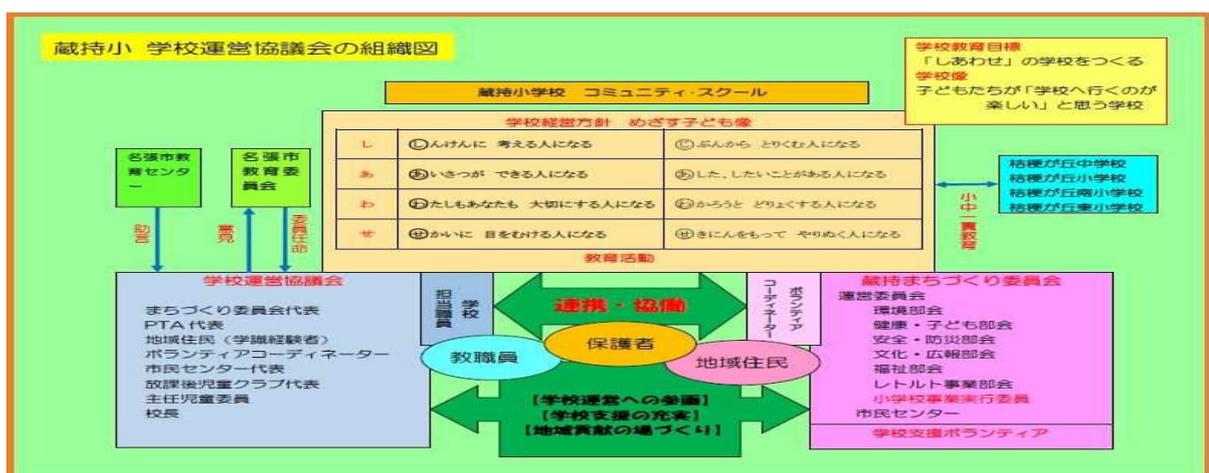
#### 【成果】

- ◇ 学校運営について、幅広い視点での理解ある意見や示唆をいただけたことで、子どもたちの「学び」と「育ち」に係る連携・協働した取組を進めることができた。
- ◇ 令和6年度「学校・地域協働活動年間計画」に基づき、学校と地域が計画的に取組を実施することができた。これまでの地域からの活動支援について、改めて学校運営協議会の活動として整理したことで、支援の充実・発展につなげる仕組みづくりにつなげることができた。また昨年度、蔵持地区まちづくり協議会のなかに「小学校事業実行委員」が設置されて2年目となるが、地域からも見通しをもって、主体的、計画的な支援を継続的にいただくことができた。
- ◇ 昨年度より蔵持市民センター祭（地域文化祭）を本校施設で実施し、全児童が参加しているが、本年度さらに参加者が増加し、のべ1,200人を超える参加者となった。蔵持市民センターの教養講座の開催や「蔵持獅子神楽」など地域行事なども小学校施設で実施した。「蔵持獅子神楽」保存会への募集や地区まちづくり委員会主催の「ウォークラリー大会」等への参加について、学校を通じて参加募集や案内を行うことで、児童やその家族の参加が増加し、また蔵持市民センターにより今年度、新たに子ども向けのイベントも開催され、多くの子どもたちが参加した。地域行事に学校が積極的に関わっていくことで、地域住民の地域行事への参加人数も増加し、子どもたちとの交流、また地域住民相互の交流ができたことは、児童を含めた地域住民の相互の結びつきを深める「スクール・コミュニティ」を視野に入れた取組とすることができた。
- ◇ 今年度初めて学校運営協議会委員と児童との懇談を行ったことにより、子どもたちの思いや成長した姿、身についた力を実感していただけた。地域からの支援の意義とやりがいを感じていただくとともに、次年度への取組へつなげることができた。
- ◇ 児童の発案により、地域内8カ所にゴミ分別に関わるポスターを作成し、地域へ啓発するなど、学習の成果を地域に発信する取組を行うことができつつある。

#### 【課題】

- ◆ 学校支援ボランティアの高齢化等に対応するため、まちづくり委員会や各自治会、敬老会など、「個々の支援」から「組織からの支援」への転換を進めていますが、人材確保や人材発掘のための仕組みの構築を今後も図っていく必要がある。
- ◆ 子どもの主体性や社会性を育むための具体的な方策について、さらに協議を進め、熟議の内容や方法等、より効果的で深まるよう工夫していく必要がある。
- ◆ 今後も地域住民と児童がふれあう機会を設定し、児童をふくめた地域住民相互の結びつきが深まるよう、学校から地域へ貢献する場を模索していきたいと考える。

### 4. 学校運営協議会の組織図



# 薦原小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年6月5日（水）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付、委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 学校運営の基本方針・学校、子どもの実態と課題等について
- ④ 薦原小学校コミュニティ・スクール組織図とCSカレンダー等を使って本年度の活動確認
- ⑤ 熟議 テーマ：「3部会の活動を充実させよう」

【第2回】学校運営協議会〈令和6年7月31日（水）15時00分～16時00分〉

- ① 学校運営協議会委員と教職員との懇談会
  - ・テーマ：「薦原ならではの活動をさらに充実させよう」
  - ・内容：3つのグループに分かれてテーマにそった協議を行いました。1学期の活動を振り返り、それぞれの活動を通して子どもたちにどのような力がついたのか、さらにもっとどのような力をつけていきたいかについて話し合いました。話し合ったことをもとに、2学期以降の活動に活かしていくことを全体で確認しました。

【第3回】学校運営協議会〈令和6年10月24日（木）13時20分～15時00分〉

- ① 5年音楽会リハーサル参観
- ② 児童アンケート及び全国学力・学習状況調査の結果について
- ③ 熟議 テーマ：「ありがたいの学校づくりをめざし、各部会の活動を具体化させよう」

【第4回】学校運営協議会〈令和7年2月21日（金）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観
- ② 本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 「令和6年度の学校評価書」について
- ④ 来年度の学校運営について
- ⑤ 熟議 テーマ：「本年度の活動を振り返り、来年度の活動をよりよいものにしていこう」

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観後、児童の様子について交流しました。特に、本年度研究している算数科の授業づくりについての意見交換をしました。
- ② 北中学校区小中一貫教育グランドデザインを示し、8部会の取組について周知を図りました。
- ③ 「薦原ならではの活動」をさらに充実させるために、学校運営協議会委員と全教職員で熟議を行いました。子どもたちの主体性を大事にした取組を進めていくことを確認しました。
- ④ 児童・保護者アンケートや全国学力・学習状況調査結果からみえてきた課題を共有し、その解決策について協議しました。
- ⑤ 読書量は年々増加傾向にあるものの読書の幅が広がらない課題について学校運営協議会で協議しました。その課題を解決するための取組として、給食時の放送で、読書ボランティアの方に様々なジャンルの本の紹介をしていただいています。児童は放送をととても楽しみにして

おり、放送で紹介された本を手にとって読む児童が増えてきています。

- ⑥ 学校評価について協議し、「学校評価書」としてまとめました。



③学校運営協議会委員と全教職員との熟議

## (2)【学校支援の充実】

- ① 登下校の見守り活動
- ② 毎週火曜日の朝、「わくわくブックタイム」として全学年での読み聞かせ
- ③ 給食時の放送で「おすすめの本」の紹介
- ④ 図書室の本の修繕
- ⑤ 運動場や校舎周辺の草刈り
- ⑥ 地域学習の支援

1年…学校林探検、昔遊び、2年…野菜作り、サツマイモの苗植えと収穫

3年…ニッポンハナダカバチの学習、4年…ギフチョウの学習

5年…田植え、案山子づくり、稲刈り、おにぎり作り 等

- ⑦ 学習支援（年8回のグングン先生、家庭科のミシン 等）
- ⑧ 学校行事の支援（体カテスト、花＊花ウォークラリー 等）



②読み聞かせ



③「おすすめの本」の紹介



④本の修繕



⑤草刈り



⑥野菜作り



⑦グングン先生

## (3)【地域貢献の場づくり】

- ① 「ギフチョウ学習会」では、4年生が、ギフチョウを卵から羽化するまで育ててきたことや、自分たちが地域の一員としてギフチョウを守っていきたいという思いを発信することができました。
- ② 地区運動会では、6年生が「スリッパとばし」の競技を担当し、司会進行や計測等することで地域のために活躍することができました。

- ③ 「コモコモふれあいまつり」では、「コモコモ学習発表会」を行い、各学年が学習してきたことを多くの地域の方や保護者の方に伝えることができました。また、出店や獅子舞などの地域行事にたくさんの児童が参加し、楽しむことができました。
- ④ 3月に「ありがとうの会」を実施しました。1年間お世話になった地域の方に手紙やプレゼントを渡し、感謝の気持ちを伝えました。
- ⑤ 薦原まちの保健室と協働し、4年生が認知症サポーター養成講座を体験しました。
- ⑥ 「花＊花ウォークラリー」でボランティアの方と一緒に地域めぐりをし、地域のよさに触れることができました。
- ⑦ 防災訓練では、5、6年生が地域の方と一緒に避難所設営体験や土のう訓練を行いました。災害時には、自分の身を守るだけでなく、地域の一員として何ができるかについて考えることができました。また、「防災キャンプ」に多数の児童が参加し、災害への意識を高めることができました。



①ギフチョウ学習会



⑦地域の方と一緒にいった  
避難所設営体験



⑦防災キャンプ  
(避難所を想定した食事)

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

- ◇学校運営部、学校支援部、地域協働部の部会長が中心となり、「子どもたちの自己肯定感を高める」ことを意識し熟議を行ってきました。それぞれの取組の中で、子どもたちが「誰かの役に立っている」と感じられる場面をつくることができました。
- ◇「寺子屋こもはら」「防災キャンプ」「あゆつかみ」は、子どもたちがとても楽しみにしている活動です。昨年度より子どもたちの参加人数は増え、地域の方や保護者の方の協力も大きく、子どもたちの自主性や主体性を育むような内容となっています。「薦原ならでは」の取組として、持続可能なものにしていくために、今後は卒業生にも地域の一員としての役割を持たせたいと考えています。
- ◇地域の方とふれ合う機会がたくさんあり、子どもたちとのつながりも深まってきています。地域の方からの励ましや温かさが、子どもたちの自己有用感を高めることにつながっています。
- ◇第2回学校運営協議会で、学校運営協議会委員の皆さんと全教職員との懇談会を行いました。年に1回ではありますが、夏期休業日にゆっくり時間をとってお互いの思いを共有することができたことで、2学期以降の取組につなげることができました。

#### 【課題】

- ◆ 学校運営協議会に児童が参画する場を設定するなど、地域に貢献できる場をさらに広げていく必要があります。
- ◆ 「防災キャンプ」「あゆつかみ」等、保護者世代の方の協力が広がってきています。さらに充実させるためには、学校運営協議会とPTA活動との強い連携が必要です。

4. 学校運営協議会の組織図

薦原小学校コミュニティ・スクール

学校教育目標

持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

めざす子ども像

- ① あ：「ありがとう」や「あいさつ」が進んで言え、基本的な生活習慣が身についた子
- ② り：りこうな子〈わかる楽しさ・学ぶ喜びを実感できる子〉
- ③ が：がちりつながる子〈子どもどうしのつながりや地域とのつながりを大切にする子〉
- ④ と：友だちも自分も大切にする子    ⑤ う：運動が好きな子

承認  
評価  
改善

薦原小学校学校運営協議会

学校運営部

- めざす子どもの姿の共有
- 学校運営協議会
  - 教育課程・学校評価等
  - 学校運営への参画
  - 情報共有

学校支援部

- 地域のネットワークを生かした学校支援
- 学習支援 G
    - ・グングン先生
    - ・地域学習の支援
    - ・教科学習の支援
    - ・学校行事の支援
    - ・寺子屋こもはら(小学生版)
  - 学校安全 G
    - ・登下校の見守り
    - ・校内安全サポート
  - 学校図書 G
    - ・読み聞かせ
    - ・図書室環境整備

地域協働部

- 地域と子どもが共に育つ場づくり
- 薦原地域づくり委員会との連携
    - ・ギフトョウ保護
    - ・総合防災訓練
    - ・コモコモふれあい祭り
    - ・鮎つかみ
    - ・運動会
    - ・防災キャンプ
    - ・子どもを守る家
    - ・学校林整備
    - ・さつまいもほり
    - ・環境整備作業 等

連携・協働

学校  
教職員

保護者

地域住民

薦原地域づくり委員会

# 比奈知小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年5月30日（木）13時50分～16時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付
- ③ 会長・副会長の選出と学校運営協議会組織について
- ④ 学校経営計画・教育課程、教育活動、本校の現状等について
- ⑤ 今後の学校運営協議会について  
熟議「豊かな心を育むために 私たちができることを考え 知恵を出し合う」  
～CSカレンダーを見直し、みなさんで育てましょう～

【第2回】学校運営協議会〈令和6年7月31日（水）9時30分～11時30分〉

- ① 学校及び児童の様子について
- ② 学校アンケート（児童）結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査結果について
- ④ 名張中学校区小中一貫教育の現状について
- ⑤ 比奈知小学校創立150周年について
- ⑥ CSカレンダーの見直しについて（教職員との懇談）

【第3回】学校運営協議会〈令和6年10月21日（月）9時45分～12時〉

- ① 来年度以降の野外活動の方向性について
- ② 比奈知小学校創立150周年について
- ③ 学校及び児童の様子について

【第4回】学校運営協議会〈令和7年2月18日（火）9時～11時30分〉

- ① 学校評価について
- ② 本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 「令和6年度の学校評価書」について
- ④ 来年度の学校運営について

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1) 【学校運営への参画】

- ① 全国学力・学習状況調査、学習や生活についてのアンケートをもとに熟議を行いました。
- ② 小中一貫教育のグランドデザインをもとにして、今年度の取組について周知を図りました。
- ③ 保護者の学校教育に関するアンケート結果について協議し、感想やご意見をいただきました。
- ④ 第1回学校運営協議会の熟議で出された内容をもとに、本校教職員15名と学校運営協議会委員の方と懇談会をもちました。懇談会では、本年度から取り組める内容について、具体的な協議をもつことができました。
- ⑤ 学校評価についてご意見をいただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。



④懇談会

### (2) 【学校支援の充実】

- ① 富貴の会、ひなち地域ゆめづくり委員会及び個人参加のボランティアさんによって、毎週火曜日・木曜日の黒田道、比奈知市民センター前（毎週火曜日）及び、富貴ヶ丘団地内での登校支援が実施されています。

- ② 毎週水曜日の朝、ボランティアさんによる読み聞かせを行っています。
- ③ 毎週火曜日、ボランティアさんが図書室の本の整理や修繕を行い、活動終了後、1年生と一緒に歩いて見守りをしています。
- ④ 校内教育支援センターとして、「ひだまり」という名称で、毎週水曜日に会議室を開放しています。
- ⑤ 草刈りボランティアさんとPTAによる共同で、学校の環境整備作業が年間2回実施されています。
- ⑥ 学期の最初と最後の日における青色パトロール(ひなち地域ゆめづくり委員会安全防犯防災部会)
- ⑦ 多くの場面で学習支援(米づくり、野菜づくり、焼き芋体験)が実施されています。
- ⑧ 消防団によるプール清掃支援
- ⑨ 消防団による総合防災訓練(放水訓練及び消防車両見学・徒手搬送訓練)



①登校支援



②読み聞かせ



⑤環境整備



④ひだまり



⑦学習支援(焼き芋体験)



⑧プール清掃支援



⑨放水訓練見学



⑨消防車両見学



⑨徒手搬送訓練

### (3)【地域貢献の場づくり】

- ① 1～3年生が円明寺や比奈知文化センターを訪問した。1年生が地域の方や文化センターの方々に昔遊びを教えていただき、交流を深めることができました。また、教えていただいた昔遊びを練習し、比奈知保育園の5歳児に披露し交流の場を持つことができました。
- ② 2年生が、なばり学の学習として長瀬・滝之原地区を訪問し、それぞれの地域の方からお話を聞き、学習しました。学習後、お礼の手紙を書いて届けたことを受けて、「嬉しいです」というお言葉と励ましのお言葉を地域の方からいただきました。
- ③ 総合防災訓練の際、各一時避難場所において6年生児童が人数点呼・確認役として活躍し、地域の方と協働して訓練を進めることができました。

- ④ コロナ禍以降途絶えていた「友遊まつり」が、PTA有志とひなち地域ゆめづくり委員会の共催で再開しました。
- ⑤ 比奈知地区文化祭に児童の作品を出展し、地域の方々にも観ていただきました。



①地域とのふれあい



②地域学習（なばり学）



③防災訓練



④友遊まつり



⑤比奈知地区文化祭



### 3. 成果と課題

#### 【成果】

- ◇授業参観により、子どもたちの姿を共有することができました。
- ◇学校経営方針や児童・学校の状況等について、熟議を通しながら理解を深め合い、学校経営や子どもたちの育成について多様な視点からご意見等いただきました。
- ◇学校と地域との関わりについて、一昨年度から作成しているCSカレンダーを基に、職員と学校運営協議会委員とで懇談会を持つことができました。取組を進めるアイデアとして、委員の方から多くのご意見をいただくことができました。いただいた意見の中から「しめ縄作り」について、地域の方に指導いただきながら5年生が取り組むことができました。
- ◇昨年度の学校運営協議会で話し合われた、「地域と連携・協働した防災訓練について」を基に、総合防災訓練を実施しました。本年度は昨年度できなかった消防団との連携した防災訓練を実施することができ、新たな学びの機会とすることができました。
- ◇昨年度の学校運営協議会で話し合われた内容を基に、校内教育支援センターとして、「ひだまり」がスタートしました。「ひだまり」に来ることにより、それまで不登校傾向にあった児童が少しずつ登校できるようになってきており、新たな居場所として機能しています。
- ◇コロナ禍以降途絶えていた「友遊まつり」が、PTA有志とひなち地域ゆめづくり委員会の共催で再開しました。当日は比奈知小学校の児童の他、地域の幼児、中学生の参加がありました。また、高校生を含めた大人のボランティアスタッフの参加や、ひなち地域ゆめづくり委員会からも多数参加があり、総勢約220名で実施されました。各種催しや5年生児童が地域の方の支援をいただきながら育てたお米を使ったカレーライスの振る舞いもあり、充実した取組となりました。
- ◇草刈りボランティアの募集を行ったところ、1名の増員に繋がりました。今後も、様々な機会を通じて、協力の呼びかけを行っていきたいと考えています。

## 【課題】

- ◆学校運営協議会委員と児童との意見交流の場を設定することができませんでした。児童をお客さんにするのではなく、児童自身に当事者の一人であるという自覚を持たせるためにも、児童参画の機会を設定していきたいです。
- ◆コミュニティ・スクールの取組の充実には、学校と地域との連絡調整を担っていただく方が欠かせません。比奈知小学校では教頭が多くの場合でその役割を担っています。そうした役割を、今後、どのようにして地域の方と共に進めていくかが課題です。
- ◆多くの学校に共通する課題だと思いますが、支援していただく方が限られてきており、学校生活支援ボランティアの方も高齢化が進んでいます。学校運営協議会や地域の会議などの場において、困り感を具体的に伝えていく必要があると感じています。
- ◆学校経営に関わって様々な案件が起こる中、学校運営協議会以外にも学校と地域や保護者が、互いの意見を交流したり協議したりする機会を持つことができるよう、今後、共通理解を図っていきます。

4. 学校運営協議会の組織図

## 比奈知小学校コミュニティ・スクール

### ～めざす子ども～

- ・何事にも積極的にチャレンジできる子
- ・豊かな心を持ち、自分もなかまも大切にする子
- ・自ら考えて表現し、行動できる子

### ～地域がめざす子ども像～

「地域に愛着を持ち、つながりながら地域とともに成長する子ども」

### 学校運営協議会

校長  
 比奈知地域ゆめづくり委員会会長  
 地域住民代表（区長）  
 ボランティアコーディネーター  
 民生児童委員  
 富貴の会  
 学童保育「ともがき」代表  
 PTA 代表  
  
 教頭・担当教員・事務職員

### ひなち地域 ゆめづくり委員会

健康・スポーツ部会  
 生活環境部会  
 安全防犯部会  
 比奈知地域委員会  
 なごみ  
 っ人の会

連携・協働

学校  
教職員

地域住民

保護者

・学校運営の参画    ・学校支援の充実  
 ・地域貢献の場づくり

### 地域学習

- ・比奈知市民センター
- ・比奈知文化センター
- ・円明寺    ・比奈知ダム
- ・長瀬地区、滝之原地区
- ・憩いの家

### 地域交流

- ・友遊まつり
- ・キャンドルナイト in 名居神社
- ・比奈知地区文化祭
- ・総合防災訓練

# 美旗小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年5月30日（木）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観2限目
- ② 委嘱状の交付、委員自己紹介、会長・副会長の選出
- ③ 学校運営協議会の在り方
- ④ 美旗小学校 学校運営について
- ⑤ 協議（参観での子どもの様子や登下校から、美旗小学校の子どもたちの課題について洗い出し）

【第2回】学校運営協議会〈令和6年10月22日（火）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観2限目
- ② 協議「子どもたちの実態や現状から見えてくる課題解決において」
  - 1 全国学力・学習状況調査の児童質問紙から見えてきた3つの課題について
    - ・家庭学習の時間が少ない
    - ・自己有用感等が低い
    - ・地域貢献や社会貢献への思いが低下
  - 2 子どもたちの安全・安心な通学において

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月19日（水）10時～12時〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 第2回における協議の成果や課題について
- ③ 令和6年度学校運営協議会評価書について
- ④ 令和7年度の学校運営について

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 学力向上に向けて、全国学力・学習状況調査や児童質問紙、生活アンケートから見えてきた「美旗地区に通う児童の生活習慣の課題」を共有し、解決のために地域・保護者・学校のできることに  
ついて協議を行いました。
- ③ 学校評価について協議し、「学校評価書」としてまとめる予定です。



① 授業参観



② 学校運営協議会

## (2) 【学校支援の充実】

- ① 昨年度までは昼休みに行っていた地域の方々による読み聞かせを、2学期から低学年を対象に毎週木曜日の朝、読み聞かせを行っていただき、子どもが本に触れる機会を増やしていただくことができました。読み聞かせボランティアの方も新しい方が増えてきています。
- ② 図書室の蔵書管理や掲示物等による環境整備の支援をしていただきました。
- ③ トイレピカピカサポーター（地域ボランティア）によって、毎学期最終日に児童用トイレの清掃をしていただきました。
- ④ 「さつまいも掘り」や「アタックみはた」など、子どもたちが楽しめる行事を計画していただきました。



①読み聞かせ



②図書室の掲示物



③トイレピカピカサポーター



④さつまいも苗植え



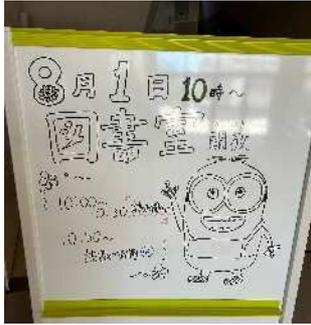
④さつまいも掘り



④アタックみはた

## (3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 本校CS担当が、地域の方々にお世話になっていることを伝える動画を作成し、各クラスで、「美旗の地域には、美旗に住む子どもたちのために、たくさんの方をしてくださっている方がいる。そのことにありがとうという気持ちをもっていこう」ということを確認しました。
- ② 夏休みに図書室を地域に開放し、利用していただきました。そのときに、読み聞かせボランティアの方々にもお手伝いいただき、紙芝居や絵本の読み聞かせもしていただきました。
- ③ 地域の防災訓練に高学年が参加し、簡易トイレのしくみを学んだり、傷病人の運搬訓練などを地域の方と一緒に رفتりしました。
- ④ 通学路安全キャンペーンとして、地域の方や保護者とともに地域のごみ拾いを行いました。
- ⑤ 美旗秋祭りにてMJクラブ（美旗ジュニアクラブ）として運営に参加し、出店を企画し、当日はブースも担当しました。
- ⑥ 1月のどんど祭りにたくさんの児童が参加し、地域の方と触れ合うことができました。



②夏季休業中の図書室開放（読み聞かせの様子、地域の方も一緒に）



③防災訓練



③防災訓練



④通学路安全キャンペーン

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

- ◇ 学校と地域が一体となって、より協働できるコミュニティ・スクールを目指すため、CS担当教員が学校運営協議会へ参加し、児童の実態を話すとともに、地域の方々にお世話になっていることに対して、当たり前ではなく感謝の気持ちを持つことができるよう、独自に作成・編集した動画を子どもたちに見せ、運営協議会の中でも視聴していただくことができた。
- ◇ 今年度初めてプール水泳時に監視員として、学校運営協議会委員に依頼し、安心してプール水泳を行うことができた。
- ◇ 現在は、たくさんの地域の方にお世話になっているが、20年後も、今の若い世代がこのように地域のために貢献していく人材を育てていくには、まずは大人が見本を見せて楽しい活動を提供したり、大人も含めて地域の方に感謝の気持ちを伝えていったりすることから始めていこうと話合った。そうすることで、子どもたちはおのずと感謝の気持ちを持ち、自分たちの地域のために活躍しようという気持ちも育っていくのではないかと、今後、住みよい地域をつくるために、今の子どもたちに力をつけていくことが必要であることも確認し合った。

#### 【課題】

- ◆ 地域のために活動をしている方々の高齢化が進み、次につなげていける人が少ないのが現状であるため、まずは、今の保護者に地域にどのように参加をしてもらえばよいのかを考える必要がある。
- ◆ 地域の方々が子どもたちのために行事を考えていただけることに感謝しかありませんが、学校のカリキュラムの中だけで行うには、制約も多く、課題がある。継続した取組としていくためにも、引き続き議論をしていく必要がある。

4. 学校運営協議会の組織図



# 箕曲小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年5月30日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 委嘱状交付、委員の紹介、会長・副会長の選出
- ② 授業参観
- ③ 学校運営の基本方針・教育課程・学校、子どもの実態と課題等について
- ④ 年間行事とCSカレンダー等を使って本年度の活動確認

【第2回】学校運営協議会〈令和6年10月28日（月）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 子どもの実態と課題等について（いじめ・不登校の実態）
- ③ 児童アンケート・保護者アンケートの考察
- ④ 学力・学習状況と授業改善について
- ⑤ 教職員との懇談 内容：「地域と学校がともにできること 学校（地域）にのぞむこと」

【第3回】学校運営協議会〈令和7年1月16日（木）13時45分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 児童（5、6年生）との懇談 内容：「地域をよりよくするため、わたしたちからの提案」
- ③ 熟議「児童との懇談から見えてきたこと」

【第4回】学校運営協議会〈令和7年2月20日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 「令和6年度の学校評価書」について
- ③ 次年度の学校運営及び学校運営協議会について
- ④ 熟議「次年度に向けての～子ども実態から課題をつかみ、解決に向けて家庭・地域ができることを話し合う～」

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員の方々をなかま集会に招き、人権に関わるテーマについて縦割り班で語り合う場に参加いただき、ご意見をいただきました。
- ② 「地域と学校がともにできること」について、学校運営協議会委員・教職員・保護者が熟議を行いました。
- ③ 学校課題について共有し、その解決策について協議しました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。

①なかま集会



③協議の様子



## (2)【学校支援の充実】

- ① 夏季休業中、はなももクラブにおいて、児童の生活課題に即した「おにぎりづくり」を行っていただきました。
- ② 米作りの際は酒米サポーターの方々に、野菜作りの際には地域のボランティアの方に来ていただきました。また、今年度は焼き芋の際もご助力いただきました。
- ③ 地域コーディネーターを通して、親子行事のボランティアとして地域の方にたくさん来ていただくことができました。(1、2年生昔遊び、3年生リースづくり、4年生かかしづくり、5年生しめ縄づくり、6年生焼き物づくり)
- ④ 学校運営協議会からの発信により、学校田を学校の近くに借りることができ、稲の生長を間近で観察できるようになりました。また、道中の熱中症の心配もなくなりました。



①おにぎりづくり



②焼き芋



③しめ縄づくり

## (3)【地域貢献の場づくり】

- ① 学校運営協議会員と5、6年生児童との懇談会を開き、児童が「地域をよりよくするための提案」を行い、意見交換をする中で実現するための方策を考えました。
- ② なかま集会で、箕曲市民センターの方から「地域のために行っている取組」を伺い、その後縦割り班で「自分たちが地域にのぞむこと、地域のためにできること」を出し合いました。
- ③ 箕曲文化祭において、5年生児童が学校田で収穫した米(みのぴかり)を販売しました。
- ④ 通学路の清掃活動を実施しました。
- ⑤ 集会に地域のボランティアの方を招き、1年間地域からの学んだことを発表するとともに、お礼の言葉を述べました。
- ⑥ 放課後子ども教室の活動場所として、学校の体育館にて卓球教室が実施されています。



③箕曲文化祭での販売



④通学路の清掃活動

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

- ◇集会に学校運営協議会委員の皆さんが縦割り班の話し合いに加わることで、児童の実態や成長を見ていただくことができました。
- ◇学校の強みや課題を共有し、熟議を行うことができました。幅広い視点での意見や示唆をいただくとともに、実態に応じた活動を行うことで、学校運営がより円滑に進むようになりました。
- ◇教職員が学校運営協議会に参加することにより、児童の様子や感想を伝えながら熟議を行うことができました。児童の実態を共有することができ、学校・保護者・地域が共に課題解決に向けて意見交換をすることができました。
- ◇第3回の学校運営協議会に高学年児童全員が参加し、人権の取組を中心に、よりよい箕曲の地域づくりに向けての思いや考えを発信し、熟議をしました。

#### 【課題】

- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていく必要があります。
- ◆ボランティアの方の高齢化が進んでいます。継続的に支援をいただける人材の確保を更に図っていきます。
- ◆保護者や地域に向けて学校運営協議会の意義や活動内容をさらに発信していきます。

### 4. 学校運営協議会の組織図



# 錦生赤目小学校

## Ⅰ. 学校運営協議会の開催

### 【第1回】学校運営協議会〈令和6年5月13日（月）13時45分～〉

- ① 委員による各学級の授業参観（第5校時）
- ② 協議
  - （議題）(1)委員の委嘱と委任状の交付
  - (2)委員の紹介と会長・副会長の選出
  - (3)学校運営協議会の推進目標
  - (4)学校運営への参画
    - 学校経営計画
    - 教科担任制・人権教育総合推進地域事業
    - 主な学校行事
  - (5)学校支援の充実
    - CSカレンダー
  - (6)地域貢献への場づくり
    - 両地域での行事
  - (7)熟議「令和6年度 学校運営協議会の活動をさらに充実させるためにできることは」  
～昨年度を振り返って、また新たな視点で～

### 【第2回】学校運営協議会〈令和6年11月27日（水）13時30分～〉

- ① 委員による各学級の授業参観（第5校時）
- ② 協議
  - （議題）(1)児童の様子 動画紹介
  - (2)学校運営協議会のこれまでの活動を振り返って
    - CSカレンダー
  - (3)熟議 教職員との懇談
    - 「錦生赤目小学校 学校運営協議会の『今とこれから』」
    - ・グループ協議
    - ・グループ別発表
    - ・ふりかえり

### 【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月18日（火）14時15分～16時〉

- ① 議事
  - （議題）(1)令和7年度の学校行事について
  - (2)学校評価について
  - (3)学校運営協議会の成果と今後の課題について
  - (4)5年生児童との懇談
    - 「最高学年としてどんな学校にしたいか、そのために自分ができること」
    - 「錦生赤目地域のこんなところがすてき、こんな地域にしていきたい」

### 【その他】

- |               |      |               |
|---------------|------|---------------|
| ○人権教育総合推進地域事業 | 授業参観 | 令和6年11月 7日（木） |
| ○いきいきなかま集会    | 参観   | 令和6年11月29日（金） |

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1) 【学校運営への参画】

- ① 学校教育目標等、学校教育の方向性について理解いただき、共に目標実現に向けて学校運営協議会として取組を進めることが確認できました。
- ② 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けてのご意見をいただきました。
- ③ 本校教職員との熟議を行いました。委員さんの思いや、学校運営協議会の方向性について理解し合い、今後の取組について話し合いがもてました。
- ④ 学校評価をもとに、本校の弱みや強みを理解いただき、改善に向けた意見交換ができました。



学校運営協議会委員と教職員との熟議



グループでの意見を交流

### (2) 【学校支援の充実】

- ① 毎朝のあいさつ運動に地域の方々の協力をいただき、元気な声であいさつを返したり、自分から進んであいさつをしたりする子どもたちが増え、成果があがってきています。
- ② 各学年の学習内容に応じ、地域住民や保護者にゲストティーチャーとして学校に来てもらうことで、子どもたちの豊かな体験や学びにつながっています。特に特別支援学級のひまわりタイムには、固定されたボランティアの方々に継続的に児童とかかわっていただいております、交流が深まっています。
- ③ 5年の家庭科のミシンのサポートに来ていただきました。ミシンの授業は担任一人では同時に指導しにくく、ボランティアの方々に支援していただき、効率よい学びとなりました。
- ④ 6年生の平和学習では、戦争を体験された地域の2名の方から当時の話を聞かせていただいた。歴史学習とも関連づけ、戦争をより身近に感じ、平和の大切さを実感していました。今後も継続していきたいです。



5年 ミシン作業のサポート



低学年 さつまいもの苗うえ



バス添乗ボランティア



4年生 図工 凧作り

### (3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 3年生が錦生市民センターの訪問時に、錦生地区センターで開催されている高齢者のつどいに参加させていただき、地域の方々とのふれあいを深めました。
- ② 両地域市民センター祭りに児童の作品を出品し、地域の方々にも観ていただきました。
- ③ 児童会「まちおこし委員会」が中心となり、あかめ子どもフェスタの運営にあたりました。スタッフの募集、模擬店の内容決め、当日の運営片付けなど、子どもたちが主体的にかかわり、楽しんで参加することができました。また、2年生は学校園で栽培したさつまいもをあかめフェスタで販売することもさせていただきました。



赤目夏祭り 高学年 ダンス披露



赤目夏祭り 子どもスタッフによるブース



あかめ子どもフェスタで活躍するスタッフ



3年 錦生地区高齢者との交流

### 3. 成果と課題

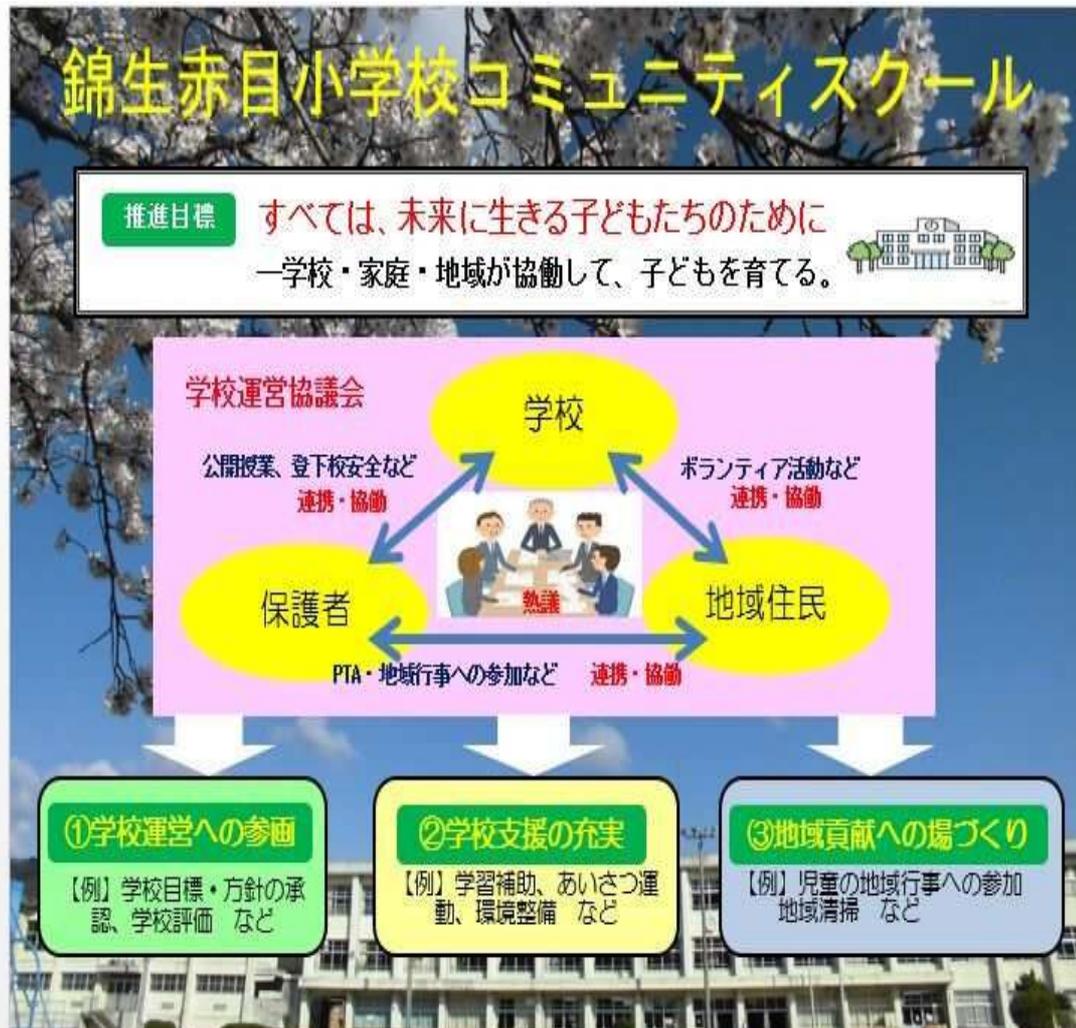
#### 【成果】

- ◇パワーポイントや動画等を用いて、わかりやすく今の学校の様子を伝え、参加者で現状を共有することができました。そのうえで、めざすべき子ども像や方向性を再確認し、熟議を行いました。話し合いの基盤をそろえ、進むべき方向性をそろえることで熟議に深まりがみられました。
- ◇教職員との懇談会を2学期にもちました。今回は小グループでじっくりと少人数で話し合える機会となり、お互いの思いを知り合うことができました。今後とも学校運営協議会委員と教職員と意思を同じにして、子どもの育ちにかかわっていけるよう、年に1回は教職員との懇談会を持っていきたいと感じました。
- ◇地域行事で子どもが活躍できるように、あらかじめスタッフを募集し、企画の段階から子どもたちのアイデアを取り入れるように工夫していただきました。子どもたちはこれまで以上に主体的に地域行事にかかわり、充実感を得ることができました。
- ◇ボランティアを募る時には、ボランティアコーディネーターからLINEアプリを利用して参加を呼びかけています。急な募集や変更にも臨機応変に対応していただいています。
- ◇今年から民生委員児童委員のみなさんが学期ごとの地区児童会に参加していただき、その後の下校指導も行っています。また集会「ふれあいフェスタ」で児童向けに「民生委員・児童委員の役割」についてわかりやすく発表していただいた。

#### 【課題】

- ◆毎回の熟議が次の会につながり、発展するよう、前回の記録をもとに具体的な取組について話し合いを進める必要があります。
- ◆様々な行事を工夫して開催しているが、担当がかかわっても継続できるように、CSカレンダー等に位置付け、教職員・学校運営協議会委員で確認して進めていく必要があります。
- ◆錦生・赤目両地域の恵まれた歴史・自然・人などに会い、子どもたちの学びが深まるような機会をこれからも増やしていけるよう、学校運営協議会がそのきっかけづくりとなるよう議論を進めていきます。

4. 学校運営協議会の組織図



# 桔梗が丘小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年5月28日（火）13時30分～15時〉

- ① 学校運営協議会について
  - ・学校運営協議会の役割及び協議会委員の役割についての説明
  - ・学校運営協議会の組織について
- ② 本年度の学校経営方針について
  - ・学校経営計画について
- ③ 今年度の取組について（熟議）
  - ・地域学校委員会      ・人権の花運動      ・クラブ支援

【第2回】学校運営協議会〈令和6年11月11日（月）16時30分～18時〉

\*PTA 本部役員 教職員代表が参加しました。

- ① 子どもの様子、状況について
  - ・本年度の取組について
  - ・全国学力・学習状況調査の結果より
- ② 熟議：～学校教育活動及びPTA行事と地域ボランティア活動をWin—Winの関係にしていけるために～

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月21日（金）15時～16時30分〉

- ① 3学期の教育活動および学校自己評価書の報告
- ② 令和7年度の取組について

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ① 4月30日(火)にボランティア懇談会を行い、本年度の活動内容について共通理解を図りました。
- ② 学校運営協議会では、授業参観を通して実際に子どもたちの様子を見ていただくとともに、日頃の地域での様子を含め、学校運営や地域の課題について共有し熟議を重ね、解決策についてご意見をいただきました。
- ③ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。

### (2)【学校支援の充実】

- ① 登下校見守りボランティアの方々により、安全な登下校となるよう支援していただきました。
- ② 読み聞かせボランティアの活動に長年取り組んでいただいています。図書ボランティア「Mama's あい」のメンバーが、朝の教室での読み聞かせや、業間の図書コーナーでお話会を開催し、子どもたちに本の楽しさを伝えてくださっています。また、図書コーナーの整理、本の整頓、壁面の飾りつけなど環境整備にも取り組んでいただきました。さらに夏休みの児童の居場所づくりとして「どくしょのひろば」を主催していただきました。
- ③ よりそいボランティアの方に児童の見守りをしていただきました。教室で不安な様子を見せる児童にそっと寄り添っていただくことで、安心して授業に参加することができていました。
- ④ 昔遊びボランティアの方を講師として招き、1年生が昔遊び体験を行いました。また、室内クラブの活動にも参加していただき、児童にお手玉やこま回しの楽しさを伝えていただきました。
- ⑤ 環境整備ボランティアの方に草刈りをしていただき、安全な環境づくりの支援をしていただきました。また、刈り取った草や落ち葉、剪定した樹木等の廃棄でもお世話になりました。



②読み聞かせ



③よりそい



④昔遊び

### (3)【地域貢献の場づくり】

① 地域学校委員会が中心となり、地域貢献を行いました。

- ・地域の方と一緒にあいさつ運動をしました。
- ・地域の方と一緒に通学路の清掃活動を行いました。
- ・「人権の花運動」で育てた花苗を名張市園芸福祉ボランティアさんに桔梗が丘駅前花壇に植えさせていただきました。



地域の方とあいさつ運動



花苗をボランティアさんへ



地域の清掃活動

② 市民センターに児童の作品展示を行いました。(6年)

- ・市民センター水墨画作品展を見学した6年生児童が、図工の時間に作品づくりにチャレンジし、その作品を市民センターで展示していただきました。



作品展見学



6年生の作品展

③ お世話になった地域の方へお礼状や6年生が家庭科で作成したプレゼントをボランティアさんへ渡しています。

### 3. 成果と課題

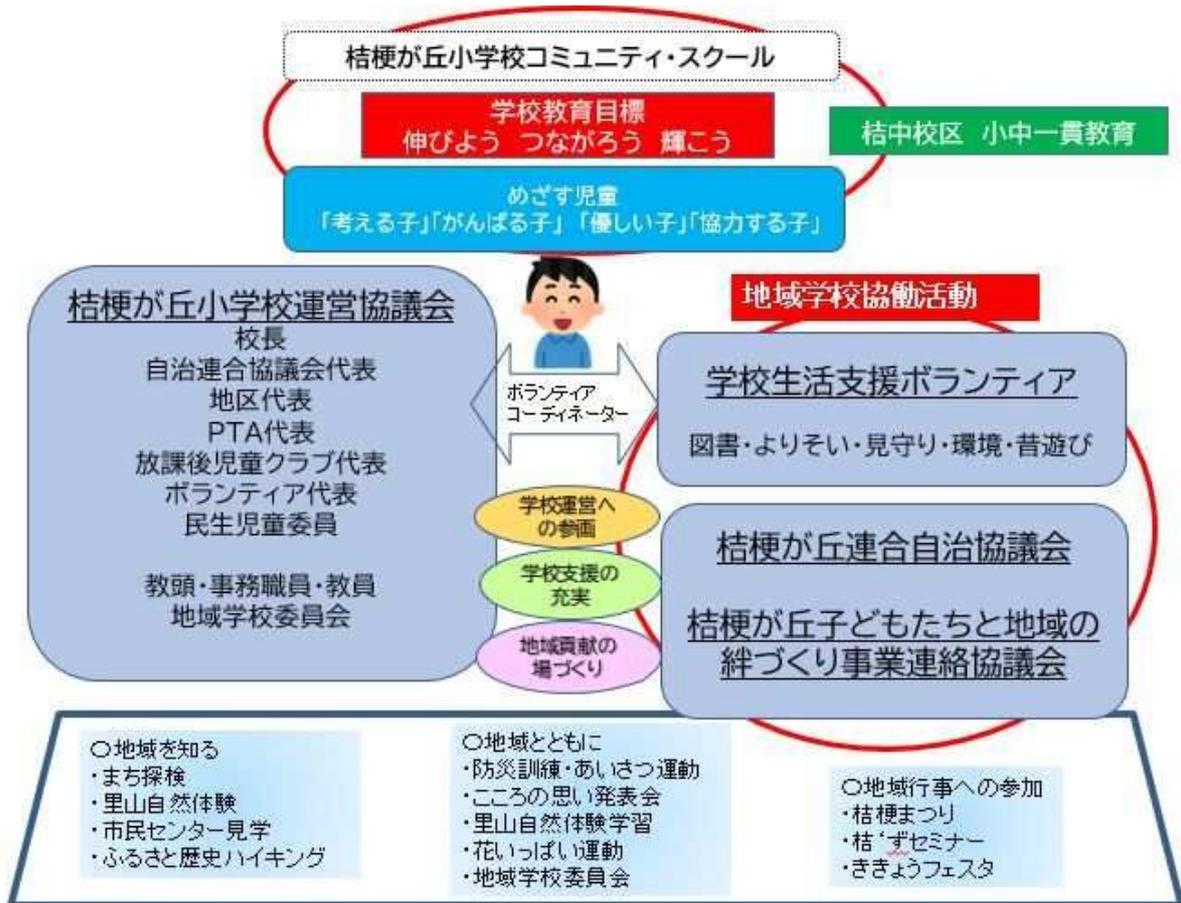
#### 【成果】

- ◇学校の強みや課題を共有し、熟議を行うことができました。第2回学校運営協議会にPTA本部役員の方に参加していただいたことで、より幅広い視点での意見や示唆をいただくことができました。
- ◇ボランティアコーディネーターを通して、様々な教育活動に地域の方が参加していただきました。児童との交流の機会が増えてきています。
- ◇地域学校委員会が中心となり全校児童へ向けて集会などで発信を行うことで、地域への関心が高まってきました。

【課題】

- ◆登下校の安全を確保していただいている「見守りボランティア」の方などの世代交代が必要な時期と  
なっています。ボランティアに参加していただける方の確保が必要です。
- ◆保護者、地域へ学校の取組や児童の様子を発信する手段として学校だより、学校ホームページを活用  
していますが、記載できる内容に限りがあります。情報発信の新たな方法を開拓していく必要があり  
ます。

4. 学校運営協議会の組織図



# 桔梗が丘南小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年5月17日（金）13時30分～15時30分〉

- ①委員の委嘱
- ②名張市学校運営協議会規則について
- ③委員の紹介及び会長、副会長の選出
- ④授業参観の感想
- ⑤本年度の学校運営の基本方針について
- ⑥学校運営協議会の運営について
- ⑦桔梗中学校運営協議会委員選出について

【第2回】学校運営協議会〈令和6年12月5日（木）13時30分～15時30分〉

- ①校内作品展の感想
- ②本年度の取組（大好き ええとこ 私たちの町 桔梗が丘）の進捗状況について
- ③熟議「めざす学校像」実現のために学校、家庭、地域、学校運営協議会でできることを話し合おう

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月18日（火）13時30～15時30分〉

- ①本年度の学校運営の成果と課題について
  - ・学校評価アンケート結果（児童・保護者）
  - ・学校自己評価
- ②小中一貫教育の進捗状況について
- ③来年度の取組内容について
- ④令和6年度学校運営協議会評価書の作成について

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1) 【学校運営への参画】

- ①学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて協議を行いました。
- ②各学年で地域素材と教育課程の関連を確認しながら、桔梗が丘南小校区の「ひとものこと」に出会う地域学習年間計画を立案し、実践しました。
- ③「めざす学校像」の実現に向けて実態を共有し、解決策について熟議を行いました。
- ④学校評価について協議し、「学校評価書」としてまとめました。



学校運営協議会



熟議



授業・校内作品展参観



### (2) 【学校支援の充実】

- ①毎日の登下校を、地域のボランティアの方の見守りや、民生委員の方のあいさつ運動によって安全

を確保していただいた。

- ②交通安全協議会を年2回（7月、3月）実施し、登下校ボランティアの方から、児童の姿や通学路の危険場所等について意見をいただいた。
- ③草刈り、樹木の伐採・剪定など学校敷地内の環境整備をしていただいた。
- ④委員会活動に合わせ、児童と共に花壇の整備や花の栽培をしていただいた。
- ⑤クラブ活動の囲碁将棋の指導をしていただいた。
- ⑥毎週金曜日、図書ボランティアによる読み聞かせをしていただくとともに、図書室の本の手入れや掲示・環境整備などをしていただいた。また、毎学期、オカリナ・マンドリンのコンサートを開催していただき、児童に披露していただいた。
- ⑦学習支援ボランティアとして子どもたちの学びのサポートや調理実習、ソーイング等の児童への支援をしていただいた。
- ⑧全学年での地域学習に、ゲストティーチャーとして学校運営協議会委員の方を中心に学びと出会いのサポートをしていただいた。
- ⑨ボランティアミーティングを開催し、各ボランティアの代表が一堂に会し、それぞれの活動状況の交流や情報交換を通して、児童や学校への支援について話し合っていたいただいた。



登下校の見守り



コンサート



調理実習支援



ボランティアミーティング

### （3）【地域貢献の場づくり】

- ①全学年が地域学習に取り組み、児童が地域に出かけることで子どもたちは地域に関心を抱き、親しみをもつことができた。また、ゲストティーチャーとして地域の方が学校に来てくださる機会ができ、児童らとのふれあう時間を確保できた。
- ②地域学習として4年生は「桔梗南の防災を知る」活動に取り組み、地域の防災コーディネーターから地域の避難所や防災倉庫について説明をしていただいた。11月16日の名張市総合防災訓練では、全校児童が各地区の避難場所に集合し、各地区の役員の方の先導で学校（指定避難所）に登校する体験を行った。
- ③6年生は、小学校生活を支援していただいた地域へ恩返しを行う活動として、3学期に地域のクリーン作戦を行った。
- ④桔梗が丘自治連合協議会の「子どもたちと地域の絆づくり事業」では、児童と共に花を育て、地域の方に配付している。
- ⑤本校卒業生のシンガーソングライター平井堅さん作曲の「桔梗が丘」と校歌を、保護者や地域の皆さん、教職員で歌い、「6年生を送る会」で子どもたちに披露した。



地域学習の様子



防災学習



市総合防災訓練



「桔梗が丘」を歌う会

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

- ◇今年度、ボランティアミーティングを開催し、各ボランティアの状況をそれぞれが把握できたことで、互いの活動を交流するとともに、子ども・学校への支援についての共通認識を図っていただいた。また、教職員に対する支援にも視野を広げていただき、学校環境や職員の働き方へも意識を向けていただくことができた。
- ◇登校時の見守りや下校時の付き添いにより、児童は安全に登下校することができている。
- ◇毎週金曜日の読み聞かせや図書室の整備等の支援により、子どもたちが本に対して関心を高めるとともに読書の機会も増えた。図書室には、さまざまな展示や掲示物が定期的に設置されていることで、児童にとって居心地のいい場所になっている。
- ◇地域の防災学習と桔梗が丘第3ブロック（桔梗南小校区）防災委員会と連携が定例化してきたことで、「防災」に係る教育活動と地域活動がよりスムーズに行うことができた。
- ◇家庭科の学習において、技能的支援にボランティアとして参加していただけることで、安全面での配慮や、きめ細やかな支援につながった。
- ◇定期的に花壇を整備していただいていることにより、季節ごとの花に囲まれた環境ができている。

#### 【課題】

- ◆学校運営協議会や学校ボランティアと教職員や保護者との活動を充実させていく必要がある。教職員と意見交換を行う場の設定やPTA活動と連携を深めていく機会を作っていくことが必要である。
- ◆熟議のテーマとして「家庭・地域・学校」ができることを視点に討議し、具体的な取組につなげ、多くの方に学校を支えていただく参画者になっていただくことが重要である。
- ◆ボランティアの方の人材確保として、チラシ等によりボランティア募集の周知をする必要がある。
- ◆「地域学習」の取組を継続して実施していくため、コミュニティ・スクールのテーマ「大好き ええとこ わたしたちの町 桔梗が丘」を視点に、各学年の地域カリキュラムの見直しや教材開発を進めていくことが重要である。また、学習や活動を支援していただける地域人材発掘を全教職員で行う必要がある。

4. 学校運営協議会の組織図



# 桔梗が丘東小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年6月6日（木）16時00分～17時30分〉

- ①委嘱状交付、委員の紹介、会長・副会長の選出
- ②全常勤教職員の自己紹介・アピール
- ③学校運営の基本方針・教育課程・学校、子どもの実態と課題等について
- ④学校運営協議会運営方針について
- ⑤部会別協議（3部会）

【第2回】学校運営協議会〈令和6年10月10日（木）13時40分～16時〉

- ①授業参観
- ②学校教育目標の共有について（年間行事とCSカレンダーの確認含む）
- ③各部会からの報告（第1回で話し合った課題の進展状況等）
- ④熟議 内容：「やる気・勇気・元気の育成」に学校と地域ができること

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月20日（木）15時30分～17時〉

- ①本年度の学校運営の成果と課題について
- ②「令和6年度の学校評価書」について
- ③次年度の学校運営及び学校運営協議会について
- ④熟議 内容：「各部会の次年度の活動について」

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ①学校運営協議会委員10名が3つの部会（あそびっくす、安全・環境、オアシス運動・読み聞かせ活動・地域人材）に分かれて所属し、課題を整理し、改善に向けて具体的にどう取り組んでいくのかについて協議しました。
- ②学校運営協議会委員による授業参観の後、意見交流を行いました。
- ③学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



～部会に分かれての協議～

### (2)【学校支援の充実】

- ①「あそびっくす in 東小」の取組
  - ・「通学路花いっぱい運動」と銘打ち、児童・保護者・地域の方で花の種まき、植え替え、水やりをして育った苗を、地域の方へ無償配布
  - ・さつま芋の苗植え、芋ほり、焼き芋

・キッズプロジェクトとして、児童が地域イベントを企画運営し成功体験をさせる。

- ②登下校ボランティアによる児童の見守り
- ③学校周辺の除草作業や運動場の整備
- ④読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせ
- ⑤地域で活動している方からのお話、授業の講師



④読み聞かせ



⑤地域で活動している方からのお話・授業の講師



### (3) 【地域貢献の場づくり】

- ①進んで地域の方にあいさつをしていこうと、児童委員による「オアシスレンジャー」が中心となって全校児童に呼び掛けています。
- ②登下校や環境整備、読み聞かせ等でお世話になったボランティアの方々への感謝の会を実施します。
- ③あそびっくすと連携して、児童・保護者・地域の方で花の種まき、植え替え、水やりをして育てた苗を、地域の方へ無償配布、および「通学路花いっぱい運動」として地域を花で彩っています。
- ④地域の防災訓練において、会場準備を担当し、訓練の運営に携わりました。



①オアシスレンジャー



③あそびっくすの活動



④地域の防災訓練参加

## 3. 成果と課題

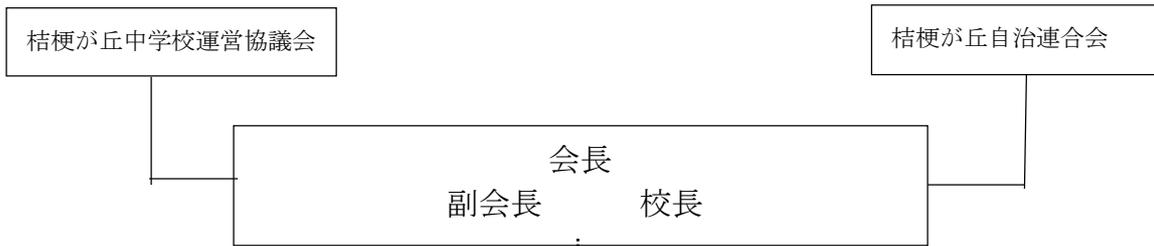
### 【成果】

- ◇行事や地域活動に、学校教育目標「やる気・勇気・元気」を具体的に落とし込んだ「めあて」を設定することで、学校と地域が同じめざす子どもの姿のもと、「あそびっくす in 東小」等の活動を行うことができました。
- ◇各運営協議会委員の皆さんの担当分野（部会）を設けたことにより、積極的にボランティアの皆さんと関わられたり、児童会の活動に関心を持って見に来ていただいたりする中で、学校と地域が連携した取組についての熟議を活発に行うことができました。
- ◇今年度は第1回学校運営協議会の開催時間を児童下校後に変更し、全教職員が出席し自己紹介やアピールを行い、部会での協議にも参加しました。昨年度課題としていた、教職員のコミュニティ・スクール推進の意識の向上について一歩前進できました。

### 【課題】

- ◆部会の中でも、ボランティアの方々の高齢化が課題としてあがっており、地域・PTAとの協働の重要性がさらに増しています。

#### 4. 学校運営協議会の組織図



担当分野	活動内容
あそびつくす	活動への支援 学校との連携
安全・環境	登下校見守り支援 子どもを守る連絡会との連携 環境整備
オアシス運動・ 地域人材	あいさつ運動展開 オアシスレンジャー激励 ゲストティーチャー発掘 読書ボランティア支援

# すずらん台小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会<令和6年6月3日(月)18:30~19:30>

- ① 委員の委嘱、委員の紹介
- ② 名張版コミュニティ・スクール及び名張市学校運営協議会規則について
- ③ 会長・副会長の指名および承認、会長あいさつ
- ④ 学校運営協議会の推進目標等について
- ⑤ 本年度の学校運営の基本方針等について  
北中学校区小中一貫教育、小中一貫ランドデザイン  
今後の主な学校行事
- ⑥ 本年度の学校運営協議会の取組  
・地域連携取組「あいさつ運動」について  
・地域行事への児童の参画について
- ⑦ その他  
・学習の森の整備について  
・夏休みの図書館開放について

【第2回】学校運営協議会<令和6年9月24日(火)18:30~19:20>

- ① 地域連携取組あいさつ運動について  
あいさつ標語の募集状況と今後の啓発活動について  
あいさつ運動「のぼり」作成について
- ② 全国学力学習状況調査の結果等について
- ③ 学習の森の整備について  
森と緑の県民税交付金の活用
- ④ 夏休みの図書館開放について
- ⑤ その他  
・2学期の行事について

【第3回】学校運営協議会<令和6年11月15日(金)18:30~19:30>

- ① 学校支援について  
授業支援として、可能な委員で午前(10:00~12:15)午後(13:00~15:25)に見守りを行う。

【第4回】学校運営協議会<令和7年2月25日(火)18:30~19:30開催予定)

- ① 本年度の総括と次年度に向けて
- ② 学校運営協議会評価について
- ③ 次年度委員について
- ④ あいさつ運動について
- ⑤ その他 学森整備について

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ① 児童の日常や実態について共有し、解決策について協議しました。

- ② 学力テストの結果を共有し、その結果をもとに現在進めている学校の取組を共有し、意見交流しました。
- ③ 学校評価について協議した後、「学校評価書」としてまとめました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 運動会の準備や片づけに地域のボランティアの皆さんに協力いただいた。
- ② 昔遊び集会や焼いも大会へボランティアとして地域の皆さんに協力いただいた。



<昔遊び集会>



<サツマイモの収穫>

- ③ 日頃から、快適な学校環境づくり（草刈り・剪定）のために地域のボランティアの皆さんに協力いただきました。
- ④ 学校運営協議会委員の方々に児童の学校生活や授業での見守り支援をしていただきました。
- ⑤ 図書ボランティアの方に、図書室の蔵書の整理や一冊一冊の本のクリーニング作業をすすめていただき、また夏休みには、学校運営協議会委員が管理者となり、図書館開放を行うことができました。



<図書館開放チラシ>



<図書館開放の様子>

- ⑥ すずらん台地内の町探検、すずらん台のキラキラさん等で、校区内の施設を訪ねることで、人との出会いから、生き方や仕事について学ぶことができました。
- ⑦ 学校ですすすめている「あいさつ運動」に、町づくり協議会と学校運営協議会とが協働して取り組み、啓発のぼり旗等、予算的な協力や実働的な協力を得ながら進められました。すずらん台の小中学生が作成した「あいさつ標語」は、「すずらん台市民センターまつり」で掲示していただきました。地域の方々からは、子どもたちの元気な挨拶について好意的な声をいただいています。



<学校運営協議会によるあいさつ運動>



<啓発のぼり旗>

### (3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 「すずらん台夏祭り」のポスターを児童が作製したり、町づくり協議会依頼のアンケートに児童の考えを書いたりという取組を行いました。
- ② 「すずらん台夏祭り」や1月のすずらん台地域の行事「どんど」の準備等に5、6年生児童数名が参加できました。



<夏祭りポスター>



<「どんど」の点火>

## 3. 成果と課題

### 【成果】

- ◇学校行事や環境整備等に精力的に支援していただいているので、教職員がゆとりを持って子どもたちに関わることができました。また、授業支援として、委員の方々に見守り支援をいただいたことは、児童の安心につながりました。
- ◇夏季休業中の図書館開放では、学校運営協議会の委員が管理者となり、スムーズに運営することができました。学校司書にも協力いただき、「おすすめの図書」について教えていただくこともできました。
- ◇地域連携取組「あいさつ運動」について、学校のあいさつ運動と連携させながら、町づくり協議会の理解や支援を得て、「啓発のぼり旗の作成」「あいさつ標語募集と市民センター祭での掲示」などの取組を進めました。運動は地域内に浸透し、児童の登下校に合わせて散歩する等、外に出てくださる方が増えています。また、「子どもたちが元気よくあいさつしている」と、子どもたちの姿に対する肯定的な声も増えています。学校や学校運営協議会発信の取組ですが、長く継続することで、地域に根付いた地域住民相互の安全安心につながる運動となるように考えています。

◇「あいさつ標語」の取組では、北中校区小中一貫の「あいさつ運動」と絡めて北中学校にも協力いただき、すずらん台地区に住む小中学生に募集をかけている。このことも、地域住民への啓発につながっています。

【課題】

- ◆家庭学習やゲーム・スマホの使い方についての課題を示しながら、家庭と学校とが共に考え取り組む方策を考えていくようにする必要があります。
- ◆新規で登録いただいたボランティアの方は少数で、ボランティアの方が固定化している現状にあります。
- ◆すずらん台の子どもの姿と地域の将来像を考えると、「あいさつ運動」が長期的な学校・地域連携取組となるための方策を考えることが必要です。
- ◆地域内での次世代育成が課題という声を聞くが、地域内だけの課題ではなく、学校運営協議会組織としても課題となってくると考えています。

4. 学校運営協議会の組織



# 梅が丘小学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年5月23日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 学校長挨拶、委員の委嘱
- ② 授業参観
- ③ 学校運営協議会規則について
- ④ 委員の紹介および会長・副会長の選出について
- ⑤ 学校運営協議会会長挨拶
- ⑥ 本年度の学校運営の基本方針について
- ⑦ 熟議「本校の目指す子ども像の実現に向けて（CSカリキュラムの充実）」

【第2回】学校運営協議会〈令和6年11月26日（火）13時40分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 子どもたちの様子等について（情報共有）
- ③ 熟議「つながりが居場所～子どもを核としたつながりづくり」
  - ・児童からの提案
  - ・グループにわかれて熟議、交流

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月20日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 本年度の学校運営の成果と課題
- ③ 学校評価書について
- ④ 熟議「めざす子ども像の実現に向けて【学校評価】」
- ⑤ 来年度の運営について

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1) 【学校運営への参画】

- ① 授業参観の後、子どもたちの様子について、意見をいただきました。
- ② 学校の課題を共有し、意見をいただき、理解を得ることで学習支援など地域の協力を得ることができました。
- ③ 学校と地域が協働して行う防災訓練を実施しました。学校運営委員会の意見を防災訓練の計画に組み込み、学校と地域が協力して地域防災活動を継続して進めていくことを確認しました。
- ④ 熟議の場において、児童からの提案を入れ学校運営委員会での意見に組み込むことができました。



①授業参観



②学校課題の共有



③防災訓練



④児童からの提案

### (2) 【学校支援の充実】

- ① 読書ボランティア活動による本の読み聞かせ
- ② 地域学校協働カリキュラムの実施、支援（防災教育、俳句教室、キャリア教育他）
- ③ 昔あそび、フリーピンポンなど地域の方々と交流する梅小交流会の実施、支援

- ④ プール学習実施における見守り活動などの支援
- ⑤ 家庭科学習（手縫い、ミシン学習）におけるボランティア支援活動
- ⑥ 授業支援・児童支援にむけた「うめまる先生」プロジェクトの実施



②防災教育



②俳句教室



③フリーピンポン



⑤家庭科学習支援

### (3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域学習に取り組むことにより、地域の人・もの・ことを知り、地域の方の思いについて学ぶことができました。
- ② 子どもたち対象の地域イベント（夏まつり、放課後子ども教室、わいわい広場等）に子どもたちの多くの参加が得られました。
- ③ 学校と地域が協働する形での名張市総合防災訓練を実施することにより、危機対応とともに子どもたちの地域への理解が深まりました。
- ④ 地域学校協働カリキュラム、CSカレンダーの作成を行い、持続可能な活動について整理しました。



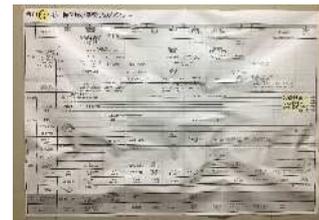
②夏まつり



②地域イベント



③総合防災訓練



④CSカレンダー

## 3. 成果と課題

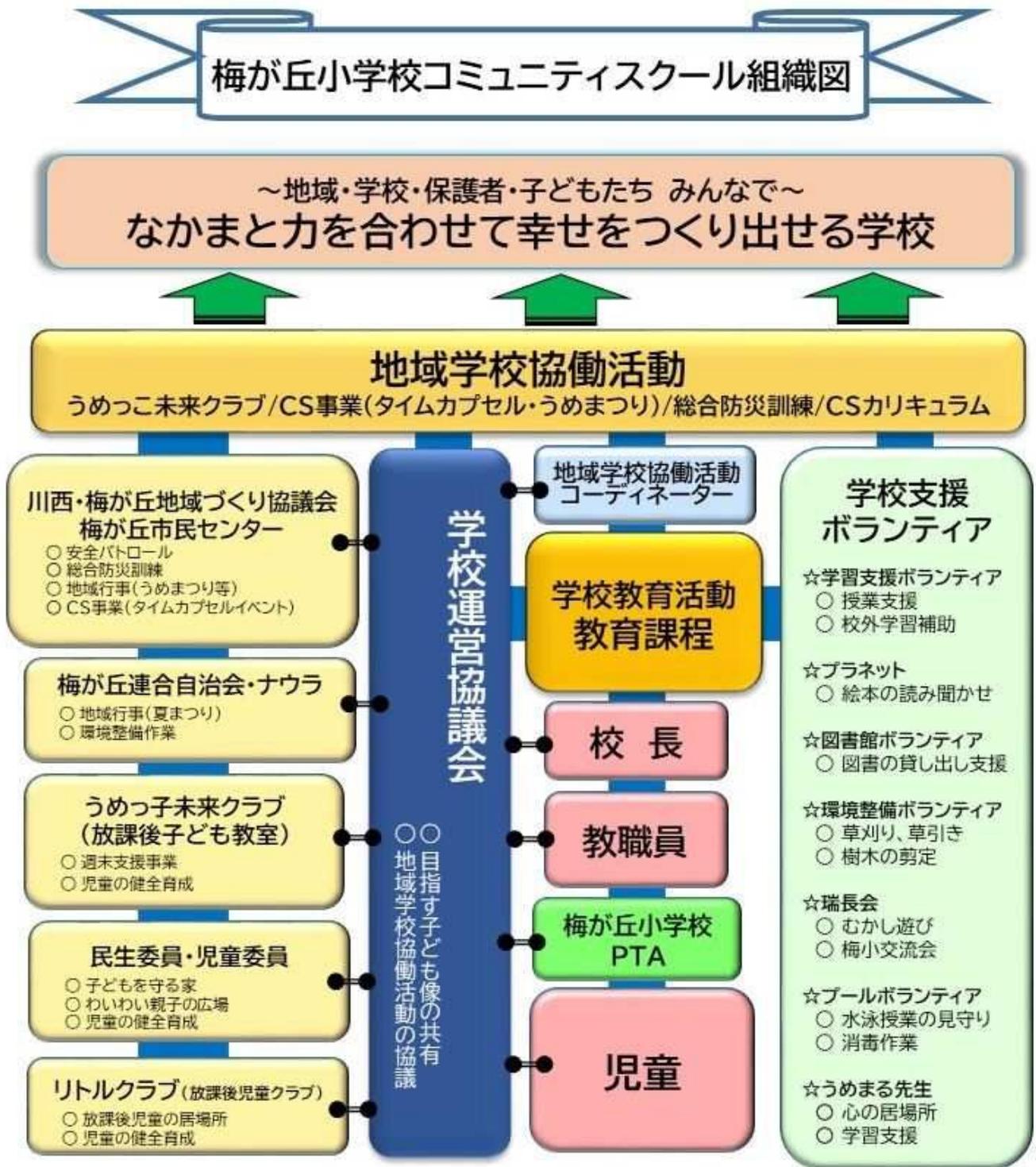
### 【成果】

- ◇授業参観を行うことで、子どもたちの現状と授業の様子を共有することができ、意見をいただくことができた。
- ◇学校の実情を知っていただき、支援や協力を多くいただくことができた。
- ◇授業支援・児童支援の活動への理解・協力を得ることができた。
- ◇感染症対応や厳しい気候への対応が必要となる中、プール水泳の見守りなど状況に応じた学校支援をしていただけた。
- ◇地域の人材をゲストティーチャーとして招き、学校と地域が協働して行う地域学校協働カリキュラムやキャリア教育支援を実施することができた。
- ◇防災訓練を実施するにあたり、熟議を通して防災訓練計画を立案し、地域と協働した防災訓練を行うことができた。

### 【課題】

- ◆学校の様子を積極的に発信するとともに、地域で活動する団体と連携し、さらに活気ある学校運営に向けての取組をしていきたい。
- ◆地域と学校が協働した取組を継続できる仕組みを構築していく必要を感じる。
- ◆スクール・コミュニティの実現に向け、学校運営協議会や地域コミュニティ理事会の場で思いを共有する取組を続けていきたい。

4. 学校運営協議会の組織図



# 百合が丘小学校

## 1. 学校運営協議会の開催について

【第1回】学校運営協議会<令和6年5月9日(木) 14時10分~16時00分>

- ① 授業見学
- ② 委嘱状交付
- ③ 名張市学校運営協議会規則について説明
- ④ 委員の紹介及び会長、副会長の選出
- ⑤ 協議：
  - ・学校運営協議会の運営について
  - ・本年度の学校経営方針等について
  - ・小中一貫教育の推進について

・本年度の組織と取組について

【第2回】学校運営協議会<令和6年6月25日(火) 15時30分~16時50分>

- ① 人権講演会(14時30分~15時20分)に参加しての意見交流
- ② 本校の課題についてのグループ協議
- ③ 支援活動の報告

【第3回】学校運営協議会<令和6年10月24日(木) 18時30分~20時00分>

- ① 児童の様子、全国学力・学習状況調査の結果について
- ② 本校の課題についての熟議「朝食摂取について」
- ③ 支援活動の報告

【第4回】学校運営協議会<令和7年2月14日(金) 18時30分~20時00分>

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 学校評価アンケートについて
- ③ 支援活動の報告

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校教育目標を説明するとともに、授業の様子を参観していただいた後、現在の児童の様子をふまえ、ご意見をいただきました。また、学習支援をしていただいている「ほめほめ隊」の活動については、学校と地域ボランティアが連携して子どもたちを支援していきたいというご意見もいただきました。
- ② 本年度、「人権講演会」や「人権総合地域推進事業授業公開」にも参加していただきました。人権講演会では「子どもが積極的に発言する姿に感心し人権啓発運動の大切さを感じた」等の感想をいただきました。
- ③ 朝食摂取が年々減っている本校の課題から、「朝食摂取」について熟議を行い、学校・家庭・地域でできることについて協議しました。
- ④ 学校評価について協議いただき「学校評価書」としてまとめました。



第1回学校運営協議会



人権講演会

## (2)【学校支援の充実】

- ① 今年度も引き続きほめほめ隊による学習支援をお願いしました。国語や算数を中心とした学習支援や、図工科や家庭科を主とした技能支援、図書ボランティアによる毎週火曜日（朝）の読み聞かせや毎週水曜日（20分休み）の折り紙教室、下校見守り隊による児童の見守り等も支援をいただきました。また、校外学習での引率やプール授業の見守りも支援いただき、安全確保ができました。さらに、基礎学力の定着のため2学期末～3学期の業間休みに「こつこつ計算らんど」（火：低学年、木：高学年）を開催していただきました。
- ② 栽培活動では田や畑を耕したり作物の収穫をお手伝いしたりしていただきました。その際には、図や手本を示して子どもたちへ話もしてくださいました。また、地域の田をお借りしての稲作体験や青蓮寺地区の山口繁一さんから教えていただくぶどう学習を、本年度も行いました。山口さんからは「なかまに支えられてぶどう作りを続けることができている」という話も聞かせていただき、「なかまの大切さ」について子どもたちが考えるきっかけとなりました。



ほめほめ隊学習支援



本の読み聞かせ



家庭科支援



校外学習見守り



こつこつ計算らんど



栽培活動支援



3年ぶどう学習



5年稲作体験

## (3)【地域貢献の場づくり】

- ① 11月に稲作体験として田植えや稲刈りでお世話になった地域の方々に対して、5年生が音楽会で発表した合唱を披露し、収穫したお米を渡したり、感謝の気持ちを伝えたりしました。
- ② 3年生がぶどう学習でお世話になった山口繁一さんを学校に招待し、合奏やお礼の言葉を伝えたりしました。
- ③ 3月には、さまざまな地域ボランティアの方にお世話になった感謝の気持ちを伝えるお礼の会を開く予定です。



山口さんへのお礼の会



稲作体験感謝のつどい

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

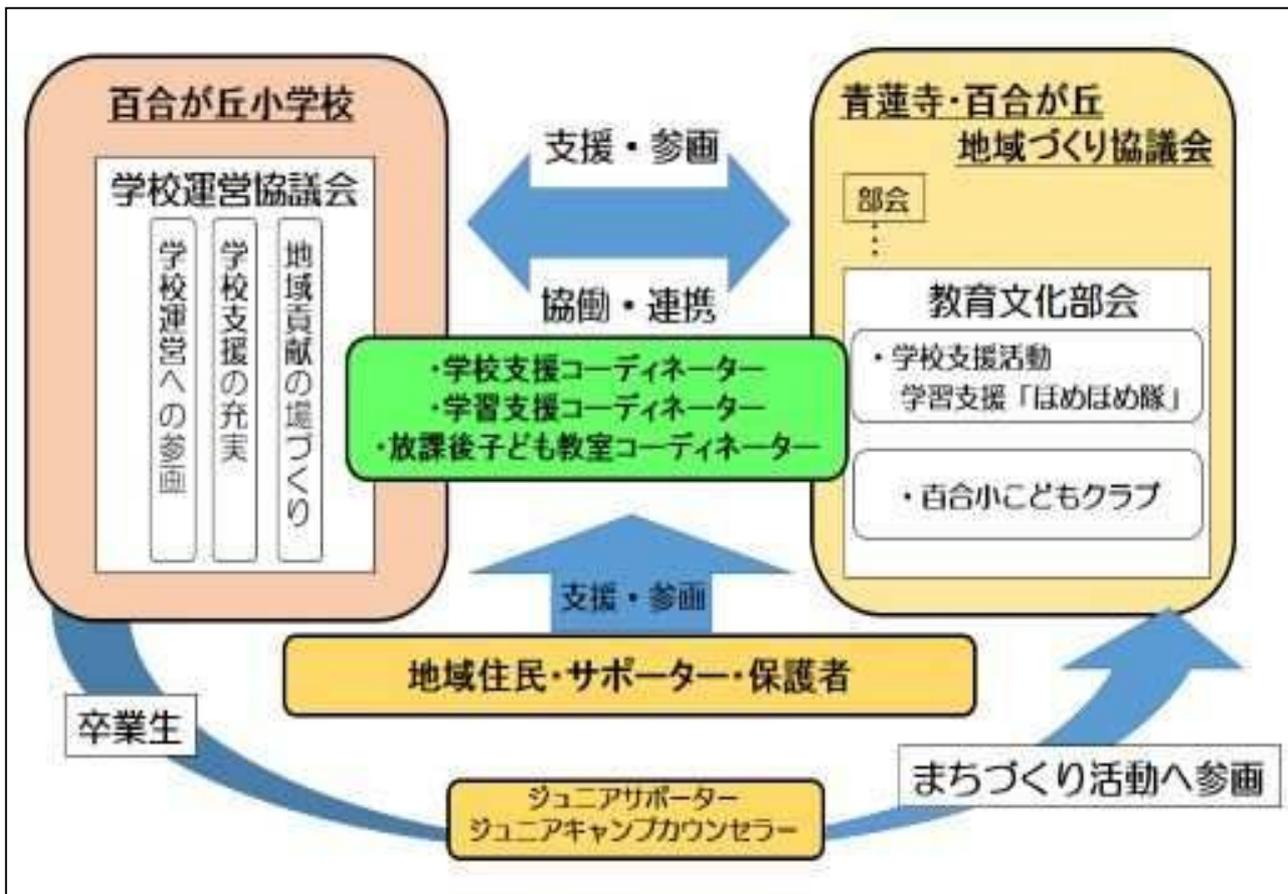
◇昨年度の課題で「学校とボランティアの間でうまく意思疎通ができなくなっている」ことがありました。そこで、4月にすべての教員と各ボランティアの代表の方々とで懇談会を実施し、学校の願いを伝えるとともにボランティアの方の困り感や思いを聞かせていただきました。学校はボランティアの方々にどんな支援をしていただきたいのか、そのためにボランティアは教室でどんな立ち位置で子どもたちと接することが望ましいのかを、両者が再確認をすることができました。

◇昨年度の評価書や子どもたちの実態から、「朝から覇気がない」「集中力が持続しない」「遅刻してくる子どもたちが多い」など不安定な生活習慣が見られる、という課題が出されました。また、全国学力・学習状況調査の児童質問紙から本校児童の朝食摂取率が年々減少していることが分かりました。そこで、朝食摂取について熟議を行い、学校・地域・家庭で具体的にできることを考えました。学校では、「給食委員会の活用」「家庭科で簡単なお飯づくりを学ぶ」など取り組む予定です。家庭（PTA）と地域も連携して検討していく予定です。

#### 【課題】

- ◆学校支援を多くの方に長年続けていただいているのですが、ボランティアの方々が高齢化してきており、人材の確保が課題です。
- ◆コミュニティ・スクール消耗品費や文書郵送に係る予算配当はされているものの、使用目的が限られていることや十分な予算でないため、地域に負担をかけている現状があります。

4. 学校運営協議会の組織図



# 名張中学校

## 1. 学校運営協議会の開催

年間計画を作成し、活動しました。

R6名張市立名張中学校 CS 年間計画表

項目・内容	放課後寺子屋	名張市総合防災訓練と連携した避難訓練	学校行事
4月			始業式・入学式
5月 第1回CS会議 (21日16:30~) ①委員の委嘱について ②学校運営協議会会則について ③委員紹介、会長・副会長選出 ④学校の様子、昨年度CSの取組について ⑤学校経営方針及び学校経営計画の承認について ⑥本年度の活動について ⑦その他	〈昨年度からの申し送り・課題〉 ○昨年度ボランティアに引き続き依頼していく。 ○補充学習だけでなく居場所作りの活動をどのように入れていくか。→2階学習室を不登校気味の生徒などの居場所作りの場所として活用 ○居場所作りの活動内容の検討 ○参加生徒数  スタート ○教室の整備	〈昨年度からの申し送り・課題〉 ○地域差を考慮した活動内容の充実 ○防災訓練当日の帰宅連絡ができない生徒や繋がらない生徒の安否確認 ○地域の11月16日の防災訓練の計画の確認 ○避難訓練時当該地区生徒の把握 ○地域の中で中学生が貢献できる中学の検討 ○まちづくりの代表との協議を重ねて、できる事を検討  準備スタート	中絶テスト 全国学力・学習状況調査 名張市総合体育大会
6月	放課後寺子屋 6/12、26 寺子屋インフィニティ（居場所作り） 6/13、14、17 寺子屋（学習支援）		休業祭 期末テスト
7月			総業式 中体連伊賀大会・三重県大会
8月	第2回CS会議 不登校生徒理解についての研修会（29日予定）		
9月	放課後寺子屋		始業式 職場体験学習（3年） 修学旅行（2年）
10月			文化発表会 中絶テスト 期末テスト 避難訓練
11月	名張市総合防災訓練と連携した避難訓練（16日） 〈目的〉 ○生徒が地域の避難場所に行くことにより、避難場所を確認するだけでなく、その地域の方々と交流を行う。 ○中学生を災害時に活躍できる人材へと育成を図る。 〈内容〉 ○出席を確認する。 ○避難活動等を地域の方と行う。また、地域の課題等の共有を行う。		16日実施予定
12月			総業式
1月			始業式
2月	第3回CS会議 ①本年度の実施結果及び成果と課題 ②学校自己評価について ③来年度に向けて ④その他		学年末テスト 三重県立高校後期選抜
			卒業式 修了式 三重県立高校後期選抜

(第1回学校運営協議会、支援ボランティア担当者会・研修会の様子)



## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1) 【学校運営への参画】

第1回学校運営協議会では、はじめに生徒会本部役員6名との懇談会を行い、名張中学校の様子や課題などを話し合いました。ICTを活用し、名張中学校の様子や昨年度のCSの取組を紹介し、本年度の学校運営の基本方針や学校経営計画を確認しました。また、本校でも課題となっている不登校生徒への支援について、学校運営協議会としてできる支援の在り方について活発に協議いただきました。昨年に引き続き、学校運営協議会委員、支援をいただくボランティアの方を対象とした不登校支援の研修会を持つことが提案され、8月に「不登校生徒の心理面の理解と対応」というテーマで教育支援センターより講師を招いて実施することができました。あわせて、一昨年度から継続して実施している学習支援としての取組も、さらに充実させることはできないかなどについても、ご協議いただきました。学校運営協議会としてこういった取組みができるか、互いに知恵を出し合おうと大変活発な協議が行われ、学校運営への参画意識の高まりを感じることができています。

# 名張中学校 学校経営 グランドデザイン

**名張市のめざす教育**  
夢をはぐくみ、心豊かで元氣な「ばりっ子」

(学校教育目標)  
**自己と社会のよりよい未来を、仲間とともに創造する子どもの育成**

**名中愛**  
◇子どもへの愛  
(子どもを一人にしない。子どもの夢をあきらめない。)  
◇職員間の愛  
(職員を、仲間を一人にしない。)  
◇来校者・家庭・地域の方への愛  
(挨拶・感謝・おもてなしを忘れない)

**めざす子ども像**  
◇自分を認められる子  
◇人を大切にできる子  
◇変化を乗り越えられる子  
◇責任をもてる子  
◇よりよい未来を創造する子  
◇伝統を重んじ引き継ぐ意欲のある子

(めざす学校像) **どの子ども生き生きと輝く学校**  
なげない毎日が幸せと感ずることができる学校

## 学ぶ意欲を高め!

・人権課題の自分事化(クラス・学年仲間集いの充実)  
・人間の弱さを自覚しながらも、人間の良さを感じingことを基盤とした視点のある道徳科の授業の創造

全教科・領域の授業で「主体的・対話的で深い学び」の視点を入れた授業を展開し、一人一人の学力保障を目指します。

・進路を見据えた徹底した学力保障  
(誰一人取り残さない学びの実現)  
・習熟度別少人数授業の充実  
・自ら主体的に望む家庭学習の実現  
・めあてと振り返りの質の向上  
・指導と評価の一体化  
・タブレットを効果的に活用した授業づくり

## 自ら進んで!

**心豊かに!**  
人権・同和教育、道徳教育を通して、人間性豊かな子どもを育成します。

名中3本柱  
挨拶・清掃・合唱

生徒の自主的・自治的活動を推進し、生徒自らの手で学校生活をよりよくしようとする態度の育成に努めます。

私たちは、自分たちの手で学校生活をよりよくするために、この憲章を制定します。だれもが、生き生きと、自分らしさを発揮できる学校にするために。

**生徒憲章**

《人権》	人を愛する心 だから、私たちは生命を大切にします
《環境》	地球を愛する心 だから、私たちは学校を美しくします
《民主》	仲間を愛する心 だから、私たちは互いに高め合います
《夢》	未来を創る心

**研究主題 「人とのつながりを大切に、深く考え学ぶ生徒の育成」**

**多様なニーズへの対応!**  
校内委員会、通級指導、教育相談の担当を中心に、生徒の多様なニーズに対応するしくみを構築するとともに、指導力の向上を目指します。

・特に、通級学習教室を軌道に乗せるための指導法の確立と不登校対応

**安全・安心を!**  
安全・安心で快適な学校生活を送ることができる学習環境を整えます。

・いじめの未然防止、早期発見、早期対応  
・防災教育や平和学習の取組  
・危機管理意識の醸成と施設点検の日常化

**徹底した生徒理解!**  
生徒指導や教育相談の充実を図り、生徒が安心して過ごせる学校の風土を醸成させます。

・学習規律の徹底  
・細やかな情報交換  
・関係機関との連携  
・教育相談体制の充実

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の委員と学校の教職員や生徒代表が共に、めざす子ども像の実現のための具体的な方策を打ち出します。

・地域と連携した防災訓練 ・名中寺子屋 ・居場所づくり

## (2)【学校支援の充実】

### <名張中学校寺子屋>

名張中学校寺子屋として、昨年に引き続き、学習支援を中心とする取組と不登校支援としての取組を並行して実施しています。いずれも、教育課程外となる放課後において、可能な範囲で、学校運営協議会委員の皆さんや支援ボランティアなど地域の方々のお力をお借りし、生徒の学びや居場所づくりの支援をしていただくことで、めざす学校像である「どの子ども生き生きと輝く学校」「なにげない毎日が幸せと感ずることができる学校」の実現をめざしました。具体的には、今年度も月2回程度、寺子屋支援ボランティアの皆さんに参加していただき、テスト期間に学習支援を中心とする寺子屋を行いました。また、不登校支援の取組の一つとして8月に実施した研修会では、学校運営協議会委員と支援ボランティア担当者が参加し、不登校にある子どもたちに向き合う際の心構えや不登校生徒の心理面の理解と対応を考えることができました。また、自分たちが不登校生徒に向き合っていく上で具体的な支援に繋げる一歩とすることができました。2学期の寺子屋(居場所作り)では参加者がいないときもありましたが、インフィニティルームの環境整備や充実をはかったり、生徒も担当者も無理のない持続可能な取り組みとして活動することができています。学習支援の寺子屋では定期テスト期間中に日を設定しているため、生徒のニーズにあったことで生徒の参加率が上がり、3教室ほど開放して取り組むことができました。

### <活動内容>

- ① 補充学習として、放課後、本校図書室において学習等の支援を行う（学習意欲のある生徒や教科の学習を苦手としている生徒への支援）
- ② 学習支援だけではなく、図書室において可能な限り生徒の思いや悩み等を聞くなどして、生徒の居場所づくりの支援をする。
- ③ 不登校支援として、欠席しがちな生徒と交流を持ち、生徒の居場所づくりの支援をする。



インフィニティルーム



寺子屋（学習支援）6/13, 14, 17 10/7, 8 11/14, 15 2/18, 20



支援ボランティア担当者会・研修会 8/29



寺子屋（生徒支援）

6/12, 26 7/3, 17 9/11, 25 10/9, 23  
11/13, 27 12/18 1/15, 22 2/5, 19 3/5

### (3)【地域貢献の場づくり】

<在宅時での災害を仮定した防災訓練について>

1 日 時 令和6年11月16日(土)

#### 2 目 的

- ・地域の防災訓練に参加することで、応急処置、消防などの災害時に必要なスキルを身につけさせる。
- ・南海トラフ地震や頻発に起こっている豪雨災害に備えるため防災ビデオを通して防災の意識の向上を図る。
- ・実際に地域に出て適切な避難経路や避難場所を確立する中で、自分の住んでいる地域の人との意見交流、情報交換をする中で、地域との連携を図っていく。

#### 3 活動内容

(1) 地震発生 ・自分の身の安全を確保する。

(2) 一時避難場所へ移動

- ・倒れてくる壁などを想定しながら移動する。
- ・地域の方に出会った時には挨拶をする。
- ・タブレットを必ず持参し、自然災害が起こったときに自宅や避難経路で危険だと思われる場所や一時避難場所の写真撮影をする。

(3) 市指定避難所へ移動

- ・避難経路で危険だと思われる場所の写真撮影をする。
- ・市指定避難場所で名張中学校の担当教員から出欠確認を受ける。
- ・市指定避難場所の写真撮影をする。

(4) ワークシート等作成

- ・ワークシート①を仕上げ提出する。
- ・防災ビデオを視聴し、ワークシート②に取り組み、提出する。  
11月16日(土)の13時までに、ロイロノートで、学校に提出。
- ・学年ごとの課題に取り組む。

1年 防災新聞 2年防災レポート 3年防災ポスター

#### 防災訓練の様子



### 3. 成果と課題

#### 【成果】

##### <学校経営>

- ◇今年度も昨年度に引き続き、体育祭、文化発表会、各学年の合唱コンクールなど名張中学校全体の様子や生徒の様子を保護者参観できるようにしたり、授業参観を開催して保護者に子どもたちの様子をみていただいたり、運営協議会の意見も聞きながら進めることができました。また、生徒会本部役員との懇談会を設けることで、思いを語ったり、質疑応答などを行うことで、生徒と運営協議会委員との交流を深めることができました。
- ◇近年不登校生が増加していることについて、名張中学校で生徒たちの居場所づくりができないか熟議し、具体的な取組に繋げることができました。
- ◇生徒を取り巻く環境や課題は単年度で解決が図られる課題ではなく、今後も継続した取組が必要であると捉えています。このような協議を踏まえ、来年度に活動を引継ぎ、スムーズにスタートが切れるようにしていきたいです。

##### <学校支援・寺子屋>

- ◇昨年度までの反省をふまえ、テスト期間には集中的に支援の日程を入れ、充実した学習支援ができました。テスト期間中の寺子屋は、生徒のニーズもあり、回数を重ねるごとに多くの生徒が参加する様子が見られました。教科の学習を苦手としている生徒や課題解決への意欲がある生徒に対して支援を行うことができました。
- ◇運営協議会委員や支援ボランティア担当者が生徒とかかわる内容・活動があり、生徒と交流する場面を設けることができ、繋がりを深めるきっかけとなりました。

##### <地域貢献・防災訓練>

- ◇昨年度の反省を踏まえ、出欠確認の方法について子どもたちと再確認するなど事前の声掛けを十分に行うことで、出欠確認をスムーズに行うことができました。各地域に分かれての避難訓練は地域との協働した取組であり、子どもたち一人一人と地域の方との交流が深まりました。このような地道な取組が開かれた学校づくりに繋がると考えています。
- ◇子どもたちが、防災についての意識を高めたり、地域の防災について考えたりできる機会となりました。また各学年で課題を変えたことで、マナー化を防ぎ、子どもたちがそれぞれの課題を丁寧に取り組み、防災意識を地域へ啓発することができました。
- ◇子どもたちが今住んでいる地域の防災について知ることは、これから起こる可能性のある地震に備える上で、大変有意義だと考えます。子どもたちの日常は、学校で過ごす時間よりも、地域で過ごす時間の方が長くなります。子どもたちの防災意識の醸成とともに地域での防災訓練は非常に大切であると考えます。

#### 【課題】

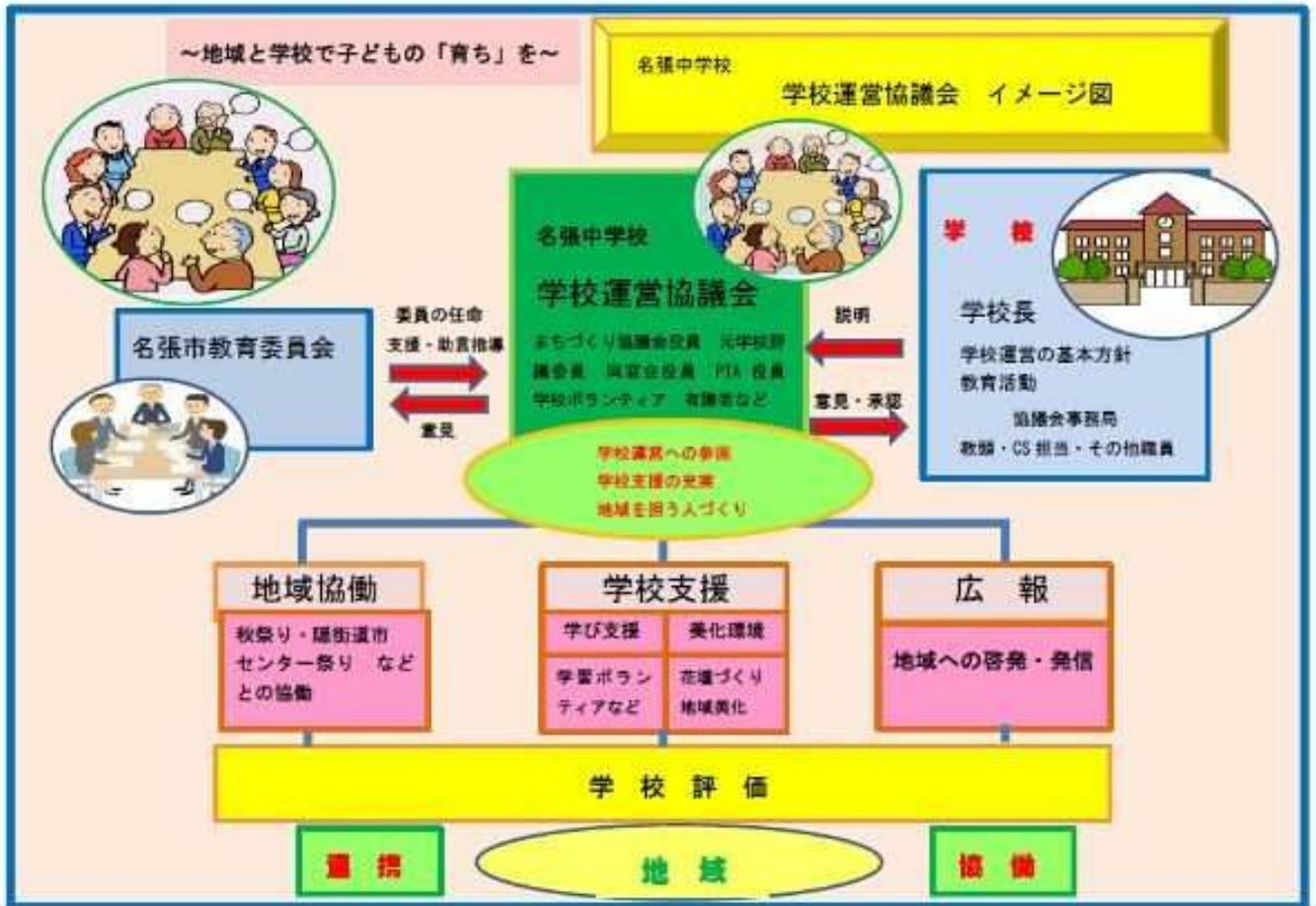
##### <学校支援・寺子屋>

- ◆学習支援については、テスト期間に設定したため、生徒のニーズと合致して多くの生徒が参加することができた反面、場所が3か所にまで広がったため、一人一人に目をかけることが難しくなったとも言えます。生徒支援については、参加者がいないこともありました。不登校生徒の状況は一人一人全く異なっておりデリケートな部分でもあるため、常に子どもたちに寄り添う姿勢を最優先に、担任、保護者と連携しながら進めていく必要があります。

##### <地域貢献・防災訓練>

- ◆参加する子どもたちの人数の問題もあり、各地域による防災訓練の内容について検討をしていく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



# 赤目中学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年4月24日（水）18時30分～20時30分〉

- ① 学校運営協議会について
  - ・名張市学校運営協議会規則説明
  - ・委員の紹介及び会長、副会長の選出
  - ・学校運営協議会の運営と組織について
- ② 学校運営についての協議
  - ・令和6年度学校運営の基本方針について
  - ・各種担当について
  - 赤目中学校区人権教育推進協議会委員、通学路合同点検代表者
- ③ その他（情報交換）
  - ・各地区行事等への生徒の参画
  - 赤目中学校生徒作品の市民センター等への展示
  - 名張市防災訓練（11月16日）での生徒の地域防災組織への参画

【第2回】学校運営協議会〈令和6年5月28日（火）18時30分～20時30分〉

- ① 学校運営協議会メンバーと中学生（生徒会・ヒューマンライツ）との懇談会  
（進行…会長）6月24日（月）16:00～ 場所（赤目中学校）  
テーマ
  - ・自分たちが住んでいる町について（要望、アイデア等）…地域貢献  
地域貢献として自分たちにできること
  - ・地域の人権について  
学習を通して自分たちが人権意識あふれるまちづくりを目指しできること
- ② 子どもの居場所づくりについて
- ③ 地域への広報について（作品展示・学校の様子DVD）  
場所 錦生地区…錦生市民センター 赤目地区…赤目市民センター  
箕曲地区…箕曲小学校 百合が丘地区…百合が丘市民センター
- ・地域フェスティバルへの展示



【第3回】学校運営協議会〈令和6年6月24日（月）16時00分～18時30分〉

- ① 生徒会、ヒューマンライツとの懇談  
【地域貢献】…一斉清掃、夏祭り、センター祭り等
  - ・自分たちが住んでいる町について（要望、アイデア等）  
安全に通学できるように歩道等の整備、赤目駅前の整備

公園等のみんなが集い遊べる場所を増やしてほしい  
地域防災訓練で中学生がもっと各家庭の安否確認等、役に立ちたい  
地域行事等にもっと積極的に関わり、地域の活性化を図りたい

【地域の人権】

・生徒が人権学習で学び、考えること授業参観（全学年）

- ② 各地区行事等への中学生の参画について  
作品展示、DVD 配布

【第4回】学校運営協議会〈令和6年8月29日（木）18時30分～20時30分〉

- ① 防災訓練、地域環境 Day について

\*当日の活動

錦生地区 一時避難場所に集合→錦生市民センターへ移動→防災訓練

赤目地区 一時避難場所に集合→錦生赤目小学校へ移動→防災訓練

箕曲地区 避難場所（後日）に集合→箕曲小学校に移動→防災訓練

百合が丘・青蓮寺地区 一時避難場所に集合→各避難場所にて防災訓練

\*午後 地域清掃活動



- ② 懇談会振り返り

\*生徒から出ていた花が咲く学校にしたいという意見から、生徒（有志）、地域の方が一緒になってプランターに花を植え、夏休み中も当番で水やりを生徒、地域の方が行き、きれいに咲いている。

\*人権について中学生のしっかりとした考えをもった意見を聞くことができ、自分たち大人もしっかり考えていかないと考えた。

\*通学路の危険箇所を中学生目線であげることができ、地域としても市へ要望するなど、対応しようとしている。



- ③ AJK（子どもの居場所づくり）について

\*学校の課題である子どもの居場所づくりについて市としてどのように支援していただけるのか

\*教育後援会が主管となるのであれば、この学校運営協議会から要望として教育後援会にだし、教育後援会が決定していく方向であるべき。

(教育後援会にて検討・・・実施していくと決定)

④ その他

- ・ 体育大会 9月20日(金)
- ・ 文化発表会 10月25日(金)
- ・ 赤目中学校人権教育総合推進地域事業研究発表会 11月1日(金)
- ・ 名張市防災訓練(地域環境 Day) 11月16日(土)
- ・ 作品展示(絵画・レポート)各地区行事等への生徒の参画

【第5回】学校運営協議会(令和6年12月3日(火)18時30分~20時30分)

- ① 名張市防災訓練・生徒の行事への参画反省
- ② AJK(子どもの居場所作り)について
- ③ その他

【第6回】学校運営協議会(令和7年2月18日(火)18時30分~20時30分)

- 今年度の活動について(反省)
- 学校評価について
- 次年度に向けて

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員の方に学校の取組や様子を知らせていただき、生徒につけていかなければならない力についてご意見をいただき、目指す生徒像を共有しました。
- ② 学校課題について共有し、解決策についてご意見をいただきました。

### (2)【学校支援の充実】

- ① 学校運営協議会からの発信により、登下校の安全確保や、部活動支援(外部指導者)、教育環境の整備といった支援等、多くの方々にご協力いただきました。
- ② 学校運営協議会として情報共有を行い、学校教育活動に対し、さらなる支援や経営への参画等、ご協力いただきました。

### (3)【地域貢献の場づくり】

- ① 学校だよりの地域回覧を進めることで、コミュニティ・スクールの推進に学校と地域が一体となって取り組む機運の醸成に努めました。また、地域の方々ボランティア活動に取り組む際の選択肢の一つとして「学校」があることを、学校だよりに通じて周知しました。
- ② 生徒の地域行事への積極的な参加につながるように、地域行事に関わる様々な情報を学校運営協議会で共有しました。
- ③ 各市民センター等に生徒の作品展示や学校の様子をDVDにし、各市民センターに配布を行うことを通じて、地域の方々の生徒理解を進めました。
- ④ 地域清掃活動を行い、生徒の地域の一員としての意識高揚を図りました。

## 3. 成果と課題

### 【成果】

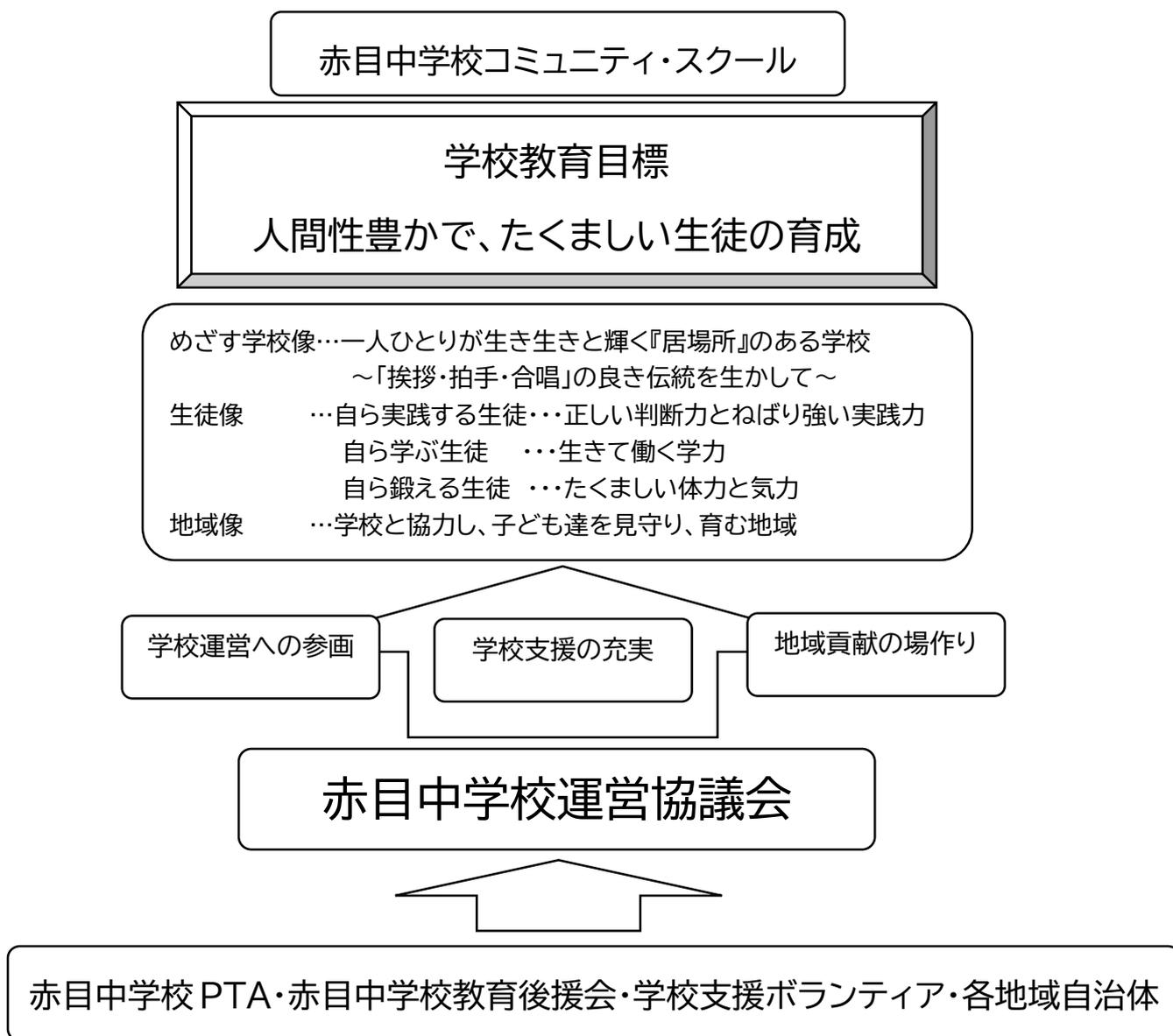
◇学校の情報を学校運営協議会で共有し地域会議での発信や通信、ホームページ等でアナウンスすることで、地域の方と生徒の交流が増え、地域の方からの中学生への理解が進み、生徒の自尊感情の高

場につながりました。また、防災訓練等、中学校が関わることで、地域の活動の活性化につながりました。

【課題】

◆学校が地域へ学校の様子や生徒の様子を更に発信し、ICTの活用やキャリア教育等、地域の方から様々なアイデアや学習資源等を提案いただくといったように、学校運営にもっと参画していただき、地域とともに教育活動を推進していき、地域から信頼され、地域の中の学校となるように今後も取組を発展させていく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



# 名張市立桔梗が丘中学校

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年6月11日（火）13時30分～15時30分〉

- ① 学校見学
- ② 名張市学校運営協議会規則について
- ③ 委員紹介および会長・副会長の選出
- ④ 令和6年度学校運営の基本方針について
- ⑤ 小中一貫教育の進捗状況について
- ⑥ 学校のようにについて
- ⑦ 令和6年度名張市総合防災訓練について
- ⑧ 各地区行事への参画について



①学校見学

【第2回】学校運営協議会〈令和6年10月22日（火）15時30分～16時50分〉

- ① 学校のようにや課題について
- ② 11月16日（土）地域防災訓練について
- ③ 桔梗祭り・蔵持市民センター祭との連携について
- ④ 桔梗が丘中学校生徒会役員との懇談



④生徒会役員との懇談

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月20日（木）13時30分～15時〉

- ① 令和6年度学校運営の成果と課題について
- ② 令和6年度の取組の成果と報告
- ③ 令和6年度 学校運営協議会評価書について

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ① 学校課題について共有し、取組についての意見をいただきました。
- ② 学校評価について協議いただきました。

### (2)【学校支援の充実】

- ① 登下校時の交通安全ボランティアでは交差点やT字路に立っていただき、生徒が安心・安全に登下校できるサポートをしていただきました。その他にも、挨拶ボランティアやボランティア女性保護司さん、図書ボランティアの皆さんにご協力いただきました。
- ② 第一回学校運営協議会やオープンスクールにおいて、桔梗が丘中学校の学校運営協議会の委員さんや校区小学校の運営協議会の委員さんに授業の様子を見学していただきました。
- ③ 部活動支援として、茶道部で2名、手話サークルで6名の方にご協力いただいています。



①図書ボランティア

### (3)【地域貢献の場づくり】

- ① 桔梗祭りや桔梗が丘市民センター祭、蔵持市民センター祭との連携により、子どもたちがボランティアとして活動を行うとともに、茶道部や音楽部も出演し、お茶の振舞いやコンサートを行い、地域との交流を深めるとともに、地域の一員としての意識の醸成を図りました。
- ② 地域の自治会と協働し、防災訓練を地域の皆さんと一緒に実施しました。



①地域行事への参加



②防災訓練

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

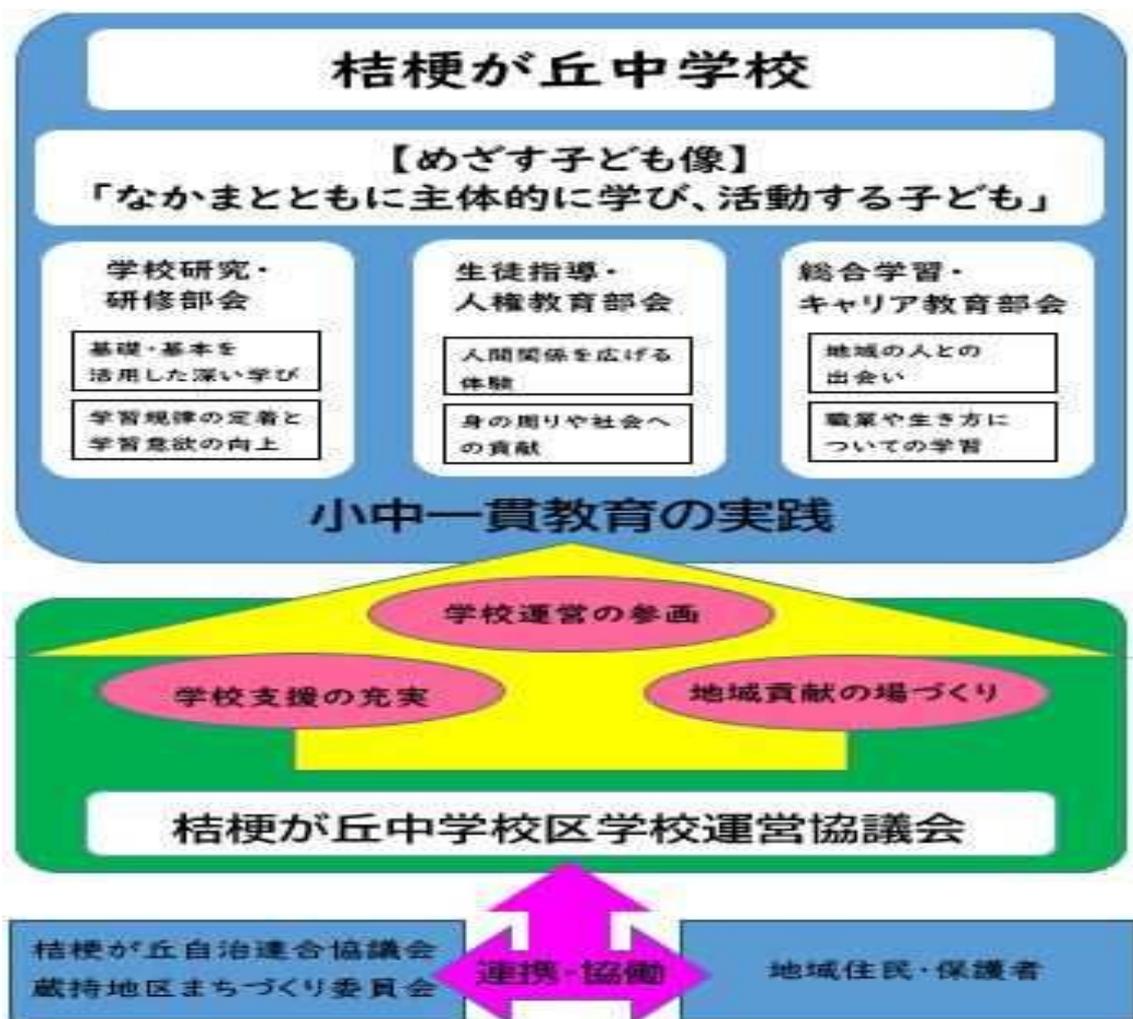
- ◇「桔梗が丘中学校の特色ある行事や取組」として、昨年度から参画している地域の行事である桔梗祭りや市民センター祭に本年度も参画し、定着に向けて取り組むことができました。
- ◇防災訓練を地域の自治会と協働しながら実施することができました。
- ◇登下校での交通安全において、地域の皆さんに生徒の様子を見ていただくことで、安全・安心に過ごす環境づくりにつなげることができました。
- ◇学校運営協議会に生徒が参加し、委員の方と生徒が直接話をする機会を設けることで、地域の活動にさらに生徒が参加していくための工夫など貴重な意見を聞くことができました。

#### 【課題】

- ◆防災訓練が定着してきた反面、慣れのためか事前の地域との確認が曖昧であったり、遅かったりした部分があったので、来年度はもう一度しっかり確認していきたいと思います。
- ◆昨年度に引き続き、本年度も地域の行事への生徒のボランティア参加が見られましたが、参加者数が

なかなか増加しないのが現状です。今後も地域の取組に関する情報提供を継続して行い地域と生徒との関わりを密接にしていくことで、生徒一人一人も地域の一員であるという意識の醸成につなげていきたいと思ひます。

4. 学校運営協議会の組織図



# 北中学校

## 1. 学校運営協議会の開催

北中校区学校運営協議会連絡会〈令和6年4月25日（木）10:00～11:00〉

- ・北中校区4校の学校運営協議会会長と学校長による連絡会を実施。各運営協議会の取組の共有化と今年度の方向性を確認

【第1回】学校運営協議会部会長会議〈令和6年5月9日（木）10:00～11:00〉

- ・第1回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組の方向性の共有化

【第1回】学校運営協議会〈令和6年5月23日（木）9:45～12:00〉

- ・学校運営協議会委員による授業参観 10:00～
  - ①委員の委嘱と名張市「学校運営協議会規則」について
  - ②委員紹介、会長・副会長選出 各部会長の承認
  - ③学校経営方針及び学校経営計画の承認について
  - ④学校運営協議会連絡会での協議内容の報告について
  - ⑤小中一貫教育にかかわる進捗状況について
  - ⑥各部会の取組について
  - ⑦各部会による熟議と全体共有



【第2回】学校運営協議会部会長会議

〈令和6年10月9日（水）11:00～12:00〉

- ・第2回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組内容の共有化

【第2回】学校運営協議会

〈令和6年11月5日（火）13:00～14:00〉

- ①生徒会による取組の発表と懇談会
- ②各部会（学校運営部会・学校支援部会・地域連携部会）の取組報告
- ③各部会での協議、下半期の具体的な取組の確認、全体共有



【第3回】学校運営協議会部会長会議〈令和7年1月20日（月）10:00～11:00〉

- ・第3回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組総括の共有化

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月6日（木）10:00～12:00〉

- ①本年度の実施結果及び成果と課題
- ②学校自己評価について
- ③来年度に向けて

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### (1)【学校運営への参画】

- ①学校運営（基本方針等）の承認
- ②生徒の地域参加についての熟議
- ③各部会での取組
  - ・学校運営部会 外部評価、校区内小学校の学校運営協議会との連携
  - ・学校支援部会 環境美化、通学路の安全点検、学習支援・部活動支援・居場所づくり
  - ・地域連携部会 地域防災活動への生徒参加支援、各まちづくり組織との連携
- ④学校運営部会を中心に「学校評価」についての協議を行い、まとめる。

## (2)【学校支援の充実】

### ①学習支援

- ・夏季休業中の学習のサポート 3回

学校支援部会を中心に計画していただいた。毎回多くの生徒が参加し、基礎学力の向上だけでなく、「夏休みの課題」を完成させ不安なく新学期を迎えることにつながっている。和気あいあいとした雰囲気、学習の支援だけでなく、地域の方との交流の場にもなっていた。2月の学年末テスト前にも学習サポート会を実施。(1、2年生対象) 3回

- ・家庭科の授業の中でのミシン作業のサポート 7回
- ・1年生の朝の読書の時間における絵本読み聞かせ 6回



夏季休業中の学習サポートの様子



ミシンのサポート



絵本の読み聞かせ

### ②環境整備

- ・中庭の整備 8月18日(日)

PTAのOBやOGを中心に学校支援のために結成されている「北斗会」の方々により、中庭の整備及びベンチのペンキ塗りをしていただいた。

- ・自転車のパンク修理

生徒の自転車がパンクした際には、学校支援ボランティアさんがすぐに駆け付け、自転車の修理をしていただいている。

- ・校庭の草抜き 毎週、テニスコート周辺を中心に整備をいただいている。



中庭の整備



パンク修理



校庭の草抜き

- ③居場所づくり 7月8日(月)～10日(水) 10:00～12:00

不登校生を対象とした、学校の一室を活用しての自由な空間づくりを3日間開催。

## (3)【地域貢献の場づくり】

- ①古谷部長と生徒会本部役員との懇談会

「災害時に中学生としてできること」をテーマに、昼休みの時間を使って生徒会本部役員7名と古谷部長が2回の懇談会をもった。

- ②名張市防災訓練に向けた打ち合わせ 11月5日(火)

地域の「総務班」「施設管理班」「避難者支援班」「物資班」「救護班」「衛星班」の6つの班の班長さんと参加する生徒43名(生徒会本部役員・薦原小地区)が、避難所開設訓練の運営について事前の打ち合わせを行った。

当日の流れや動き役割分担など、参加生徒は地域の方と共に確認することができた。

- ③地域防災活動への生徒参加

11月16日(土)に実施された名張市総合防災訓練では、避難所運営委員会と共に生徒代表者43名(生徒会本部役員・薦原小地区)が参加し、それぞれの役割で開設・運営の体験をしまし

た。昨年度より参加生徒数や分担内容も増え、参加した生徒はより主体的に取り組む姿が見られた。訓練終了後、参加した生徒は振り返りをおこない、午後の授業で各学級の生徒に還流をした。また、訓練時の動画を見て、全校生徒で防災学習を行った。生徒たちにとっては、災害時に地域の一員として何ができるかを考える機会となった。



②地域の方と打ち合わせ



③避難所開設訓練当日の様子



④まちづくり主催のイベントへの参加

- ・市民センターの学習成果物展示  
すずらん台 10月13日(日)  
美旗 11月22日(金)・23日(土)
- ・すずらん台納涼夏祭り・美旗秋祭りでの  
生徒による司会進行  
8月3日(土)・9月28日(土)
- ・薦原コモコモ祭りでのウインドアン  
サンブル部の演奏や美術部の作  
品展示 11月10日(日)



④美旗秋祭り



④薦原コモコモ祭り



④薦原コモコモ祭り

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

- ◇学校の現状、運営の方針を理解していただいたことにより、成果だけでなく課題となっている事にもそれぞれの視点から示唆や支援をいただくことができた。
- ◇本校の学校運営協議会の3つの部会(学校運営部会、学校支援部会、地域連携部会)のメンバーが、必要に応じて話し合いをもち、必要な支援や具体的な取組を継続的に実施できた。特に学習支援部会により夏季休業中に実施した学習会では、基礎学力の向上だけでなく、新学期を迎えるにあたり、課題が完成せず不安を持つ生徒が少なからずいる中、多くの生徒が参加し不安を払拭し新学期を迎えることにも繋がった。
- ◇校区内各小学校の学校運営協議会との連携も必要であることをふまえ、年度当初に北中校区4校の各運営協議会会長と学校長が集まり、北中校区学校運営協議会連絡会を開催し、成果や課題を共有することができた。
- ◇本年度は、市の総合防災訓練時に、生徒が各地域の一時避難所場所に避難し安否確認をおこない、その後、地域で防災活動を行っていただき(すずらん台小・美旗小地区)、より地域と中学生とのつながりが深まった。
- ◇全ての地域のイベントに参加(展示物や吹奏楽演奏)する機会が増え、地域の方に子どもの姿や学校での活動成果を見てもらう、知ってもらう機会が増えたことや関心を持ってもらうことができた。

#### 【課題】

- ◆年々地域の方との積極的な活動になってきている。その中で、各事情(各地域の地域性や特色)により当初の計画と変更する場面が多くあり、学校もその都度対応をした。ある程度こちらからも要望を出しながらよりよい活動になれば良いと感じた。
- ◆生徒の地域行事への参加について、まちづくり協議会と連携をさらに図りながら進めていきたい。地域の中で子どもを中心に必要な取組を地域とともに協働していきたい。

#### 4. 学校運営協議会の組織図



# 南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）

## 1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和6年6月5日（水）10時～12時〉

会場：南中学校

- ① 授業参観
- ② 挨拶（南中学校長より・運営協議会会長より）
- ③ 運営協議委員の自己紹介・協議会規則等の確認
- ④ 子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- ⑤ 令和6年度学校経営方針について
- ⑥ 重点取組内容について
  - ・プログラミング教育      ・人権講演会      ・地域防災訓練
  - ・つつじっ子会議      ・小中合同あいさつ運動      ・子どもフェスタへの参加

【第2回】学校運営協議会〈令和6年10月23日（水）10時～12時〉

会場：つつじが丘小学校

- ① 授業参観
- ② 挨拶（つつじが丘小学校長より・運営協議会会長より）
- ③ 子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- ④ 重点取組内容について
  - ・プログラミング教育      ・国際交流イベント      ・人権講演会
  - ・地域防災訓練      ・つつじっ子会議      ・小中一貫教育アンケート
  - ・子どもフェスタ
- ⑤ 放課後子ども教室、子どもクラブについて

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月6日（木）10時～12時〉

会場：南中学校

- ① 授業参観
- ② 挨拶（南中学校長より・運営協議会会長より）
- ③ 子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- ④ 小中一貫教育に関わるアンケート
- ⑤ 学校評価（各学校より）
- ⑥ 本年度の取組の反省と課題について
- ⑦ 学校評価書

## 2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

### （1）【学校運営への参画】

- ① 基本方針等の説明をし、承認をいただき、確認を行いました。
- ② 学校課題についての協議を行い、今後の方向性を話し合うことができました。  
（子どもの様子について、授業について、プログラミング教育、交通安全等について等）
- ③ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



運営協議会議より（授業参観）



小6 プログラミング教育



中1 プログラミング教育



名張市総合防災訓練



子どもフェスタ



国際交流イベント



人権講演会

## (2) 【学校支援の充実】

- ① 小中一貫教育への支援をいただきました。
- ② ふれあい隊による清掃支援や更生保護女性会によるあいさつ運動の協力をいただきました。
- ③ クラブ・部活動への支援をいただきました。
- ④ 夏季休業日中に環境整備をしていただきました。
- ⑤ 図書館整備等の支援をいただきました。
- ⑥ 紙芝居を行っていただきました。
- ⑦ 折り紙教室を行っていただきました。
- ⑧ コアラさんによる登校指導及び安全パトロールを行っていただきました
- ⑨ つつじが丘・春日丘自治連合会による、標語募集の協力をいただきました。



交通標語表彰式（小学校）



あいさつ標語表彰式（中学校）



あいさつ運動（小学校）



あいさつ運動（中学校）

## (3) 【地域貢献の場づくり】

- ① つつじっ子会議を実施し、あいさつ運動について話し合いました。
- ② 中学生が学校で、地域のマスコット「えみらる」と朝のあいさつ運動を実施しました。
- ③ 小学生が学校で朝のあいさつ運動を実施しました。
- ④ つつじが丘・春日丘自治連合会による、地域と協働のあいさつ運動を実施しました。

### 3. 成果と課題

#### 【成果】

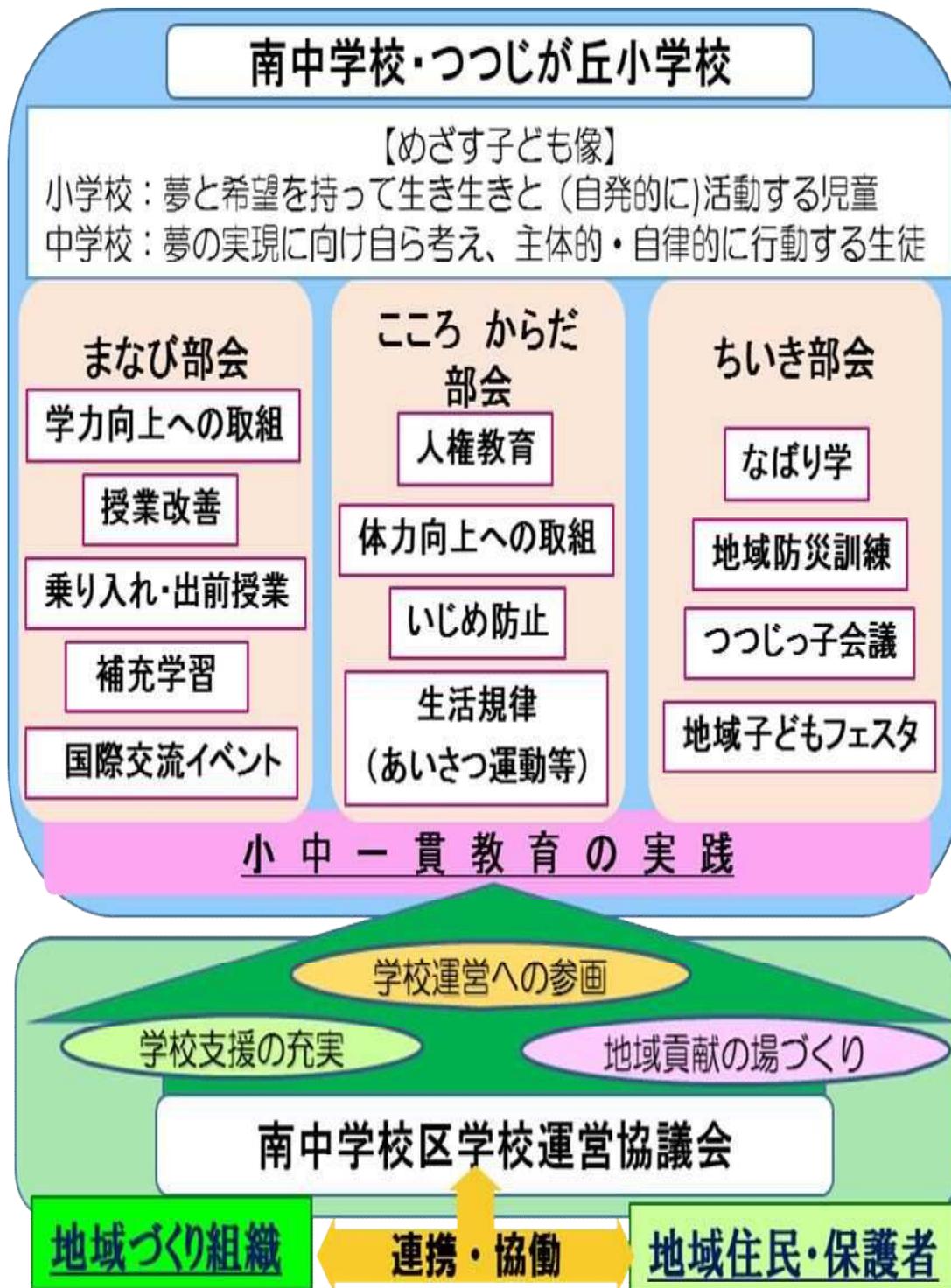
- ◇学校運営協議会委員による授業参観は、直接の児童・生徒の様子を見ることができ、学校での子どもたちの様子を理解していただく上で、大変有効であり、今後も継続していきたいと考えています。
- ◇つつじっ子会議では、今年度の取組の中心として、あいさつをテーマにあいさつがあふれる地域にしていこうと活動を進めました。2学期の終わりには、中学生が小学校に出向き、小学生の運営委員会等のメンバーと一緒にあいさつ運動を実施することができました。
- ◇コミュニティ・スクールとしての活動の一環として企画したプログラミング教室については、本年度も近畿大学工業高等専門学校（以下、近大高専）の協力をいただきながら近大高専の教員や学生に小中学校に来校していただき、クラス別に実施することができました。学習内容も小中がつながるような内容にすることができました。

#### 【課題】

- ◆名張市総合防災訓練時、小学生は自治連合会との協議により、自治連合会主催の地域防災訓練には参加せず、学校独自で避難訓練を実施しました。今後は、地域と小学校が連携した防災訓練のあり方等について、再度協議していく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図

南中学校区では小学校と中学校の教職員が4つの部会（まなび部会・こころ からだ部会・ちいき部会・事務部会）に分かれて、小中一貫教育を実施しています。学校運営協議会についても小学校と中学校の組織を一つにして、南中学校区として会議を開催しています。南中学校区学校運営協議会では、この小中一貫教育の内容について情報共有しながら、実践への参画・支援・場づくりを行っています。また、学校課題についても共有し、取組についてご意見をいただいています。



# コミュニティ・スクールだより

第44号

名張市教育委員会事務局発行 令和6(2024)年7月19日

## 子どもを「まんなか」に 大人一人ひとりが『当事者』に！

市内すべての小中学校において、令和6年度の第1回学校運営協議会が1学期前半に開催されました。子どもを中心に据えた各校の教育目標実現を目的に、学校運営協議会の委員の一人ひとりが、『当事者』として学校運営に参画するという意識をもって臨まれていました。

市内すべての小中学校がコミュニティ・スクール（以下、CS）となって4年目となる今年、今までよりもさらに充実した取組となるよう、今号では各校の学校運営協議会の様子やその工夫について紹介します。

### 熟議の目的を明確にする



梅が丘小学校では「CSカリキュラム」の充実をめざし、「小学校の間に体験させたい・学ばせたい・身につけさせたい事」についてグループで熟議を行いました。学校教育目標を具現化するために、1～6年生の年間教育課程に地域カリキュラムを取り入れたものが「CSカリキュラム」です。その「CSカリキュラム」も含め、学校支援や地域団体の活動など、学校と地域の活動計画全体を示した「CSカレンダー」をもとにして、委員一人ひとりが子どもの具体的な姿を思い描きながら、たくさん意見を出し合い、グループ→全体→まとめと繰り返していました。

この「CSカレンダー」は、地域の方々や『当事者』意識を持ち、学校運営に参画し、めざす子どもの姿の実現という共通の目標に向かって協働の歩みを進めるCS推進の具体的なツールのひとつとなります。そして、学校と地域をつなぐ貴重な情報源であるだけでなく、いざという時に力を発揮する強力なネットワークにもつながるはずです。

## 熟議で全員の意見を吸い上げる

比奈知小学校では「豊かな心を育むために、私たちができることを考え、知恵を出し合う」ことをテーマに、今ある「CSカレンダー」を見直すための熟議を行いました。

学校側が希望している取組について、依頼が可能な地域の方を紹介していただいたり、めざす子どもの姿の実現に向けて、地域で支援できる新たな取組

について提案していただいたりと、一人ひとりが知恵や経験を出し合い、これからの取組に反映させられるように話し合いました。

年間数回の会議ですが、学校の課題解決のための話し合いを充実させるためには、**運営協議会の持ち方や運営の仕方の工夫**が必要です。熟議の内容についても、**事前に資料配付し、『当事者』としての意見をもって参加してもらえよう**と、多くの学校で工夫しています。

## 教職員一人ひとりも『当事者』意識をもつ

桔梗が丘東小学校では、**第1回学校運営協議会に教職員全員が参加し**、楽しい自己紹介で顔合わせした後、部会に分かれて**全員参加の熟議**を行いました。部会それぞれの今年度の取組や、課題を出し合い、またその解決に向けた意見交換が活発に行われました。

名張中学校では、CSの取組について**教職員の意識を高める**ことを目的に、各学年から一人ずつ教員が参加するという工夫をしています。

**めざす子どもの姿を共有し、ともに育てていく教職員も一人ひとりが『当事者』**です。子どもを「まんなか」にして、何ができるかを考え、それぞれの立場で行動を起こすことが求められています。



生徒会も参加し、今年の活動の目標や取組を紹介しました！

★次回は、CSを通して成長する子どもたちの姿についてお伝えします☆

# コミュニティ・スクールだより

第45号

名張市教育委員会事務局発行 令和6(2024)年10月18日

## コミュニティ・スクールの取組を通して 成長する子どもたち

コミュニティ・スクール（以下、CS）は学校と地域をとりまく課題解決のための仕組みです。学校や子どもたち、地域が抱える様々な課題について地域全体で解決を図る必要性があります。学校と地域が課題や目標を共有し、協議が進められている各校のCSの様子をお伝えします。当事者意識をもって地域や保護者が学校運営に参画することで取組が活性化し、子どもたちの成長や変容を促しています。また、放課後子ども教室などの地域学校協働活動と一体的に推進することでさらに効果的な取組となっています。

### 子どもたちの課題を三者で共有して

百合が丘小学校では、めざす子ども像に具体的に迫る取組を進めています。6月に行われた第2回の学校運営協議会（以下、学運協）では、子どもたちの朝食摂取の課題が取り上げられました。「なんか朝から元気ないねん〜」と登下校の見守りを通じて、また教室の子どもの様子を見て、委員の皆さんから心配であるという声があります。

学校からも「朝食を全く食べない割合が全国よりも高いのが心配」と話が出ます。「今、何かできることはないか」とグループで熟議を行いました。一回の熟議で簡単に解決策は出ませんが、委員一人ひとりが課題意識をもって、継続して考えていくこと、そして次回も熟議をもつことを確認しました。また、この日は高学年の学習として、人権講演会が行われました。学運協委員の皆さんも一緒に講演会と、グループでの話し合いに参加しました。意見を交わす子どもたちの様子にも感心したという声があがり、

赤目中学校区の小中一貫教育の柱である人権学習の取組を知る有意義な機会となりました。

子どもと関わり、子どもを見つめ、学校・家庭・地域が現状や課題を共有することが子どもたちの成長につながっていくすばらしい実践です。地域で何ができるのか、保護者は何をしなければならないのかなど考える機会となりました。



## 子どもたちとのいい時間



北中学校では地域ぐるみで子どもたちの学びを支えようと、学運協の学校支援部会が立案、実施した夏休みの学習会。夏休みの後半に企画されたこの学習会は、学運協委員の皆さんをはじめ、地域の方が学校に入り、子どもたちに関わっていただきました。

毎日たくさんの生徒が参加して、学習のサポートだけでなく、地域の方と交流できる素敵な時間になりました。

## 地域学校委員会



桔梗が丘小学校では地域学校委員会という委員会活動があります。子どもたちが自ら地域のためにできることを考え、校内や校区に広げていこうとがんばっています。子どもたちが地域をきれいにしたいと計画した内容が学運協の議題に出され、学校と地域の合同清掃活動が実現しました。

子どもたちの考えを取り入れ、地域と学校をつなぐ取組は大成功でした。

## CS×放課後子ども教室+放課後児童クラブ=

夏休みのある日、箕曲小学校の図書室から楽しそうな子どもたちの声が聞こえてきました。箕曲地域の放課後子ども教室「はなももクラブ」の「自分でおいぎりをつくってみよう！」です。箕曲小CSの取組で米づくりは有名ですが、今回は学運協での熟議を通じて、「子どもでも簡単なお飯が作れるように」という食育を目的として行われました。

学運協の委員でもある「はなももクラブ」代表の福田さんをはじめ、地域の方の力を借りながら取り組んだこの教室には、放課後児童クラブ「みのわっこクラブ」の子どもたちもたくさん参加しました。

地域と学校とが一体となって食育の推進を図る良い機会となり、またCSと地域学校協働活動が一体的に推進された好事例です。



★第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会講演会を開催します★

日時：11月13日(水) 10:00～11:45 場所：教育センター2階 大研修室  
講師：文部科学省CSマイスター 鈴木 廣志さん  
演題：「コミュニティ・スクールの可能性」～学校運営協議会の役割とは～

# コミュニティ・スクールだより

第46号

令和6年12月20日

名張市教育委員会  
事務局発行



## 「コミュニティ・スクールの可能性」 ～改めて学校運営協議会の役割とは～

### 第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会 講演会より

11月13日開催の第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会に、栃木市の社会教育指導員、また文部科学省CSマイスターとしてご活躍の鈴木 廣志さんをお招きし、ご講演いただきました。各学校運営協議会委員、教職員、保護者が参加し、講演の途中に何度か参加者同士の話し合いも交えながら、学校運営協議会の役割を改めて考えあう時間となりました。



「子どものことで最近うれしかったことは…」という話題。たくさんあって5分では時間がたりません😊

#### ～参加された方の感想より～

…私たちおとながもっと子どもに接すること、子ども主体の活動を考えること、未来に続けていくこと、などコミュニティ・スクールの在り方を強く感じさせていただきました。

地域の人が学校（子ども）と関わることでコミュニティ・スクールとして活性化されるという思いが強くなりました。いかに多くの方がそういう意識を持つ機会を与えられるかが重要だと思います。

コミュニティ・スクールは、学校をゴールとするのではなく、地域を育てることをゴールとする。この言葉が大変印象に残りました。

“ボランティアは活用ではなく、活躍”  
“CSは、学びの連続性”  
“出会わせたいおとなに出会わせる”など、心にためておきたいキーワードがたくさんありました。  
本校の実態や、これからやりたいことと重ね合わせて聞かせていただきました。

これから本校の学校運営協議会で、委員全員の発言を増やし、より活発な熟議にしたいと思います。

コミュニティ・スクールとは、学校の課題だけでなく、子どもの課題、地域の課題を学校・家庭・地域と一緒に考える仕組みであり、地域・家庭も学校のサポーターではなく、**パートナーとして学校運営に参画**することが重要です。

そして、関わる誰もが「この学校」ではなく、「わたしの学校」として当事者意識を持つことで、コミュニティ・スクールの可能性はさらに広がります。

(鈴木先生のお話より)

## 名張市小中一貫教育推進シンポジウム開催 ご参加ありがとうございました

11月24日に名張市小中一貫教育推進シンポジウムを開催しました。地域・保護者・教職員等、95名の参加がありました。市長挨拶の後、名張市子ども教育ビジョン及び小中一貫教育に係る行政報告をし、パネルディスカッションを行いました。パネリストに地域と保護者の代表、学校からは校長先生にご登壇いただき、それぞれの立場から9年間を見通した子どもの育ちについて語っていただきました。校長先生からは各中学校区でめざす子ども像の実現に向けて、地域・家庭と一体となって取り組んでいる学校教育活動の様子を子どもたちの具体的な姿をもとにお話いただきました。



その中で、保護者代表の柳さんは「学校や地域の取組を理解し、連携することが大切。それが、子どもたちの成長につながる。」また、地域代表の中野さんからは「今後も地域が学校運営を支援していくことが必要。多くの方に学校支援に関わってもらい、地域も子どもたちの9年間の成長を見守っていききたい。」とお話をいただきました。子どもの学びと育ちは地域が支えていく、子どもを地域ぐるみで育てていくというコミュニティ・スクールの基盤とした名張市の小中一貫教育の在り方を改めて認識する機会となりました。

パネリストのみならず、ご参加のみならず、本当にありがとうございました。

#### ～南中学校区と名張中学校区の取組から～

<p>小中あいさつ運動</p>	<p>子どもフェスタ参画</p>	<p>職場体験学習</p>	<p>居場所づくり</p>
<p>南中学校区</p> <p>小学校：自ら考えて行動する力を育成 中学校：地域貢献の場で活躍する姿へ</p>		<p>名張中学校区</p> <p>小学校：学びや遊びの中で地域の方と関わる 中学校：子どもが安心して活動できる場に</p>	

# コミュニティ・スクールだより

名張市教育委員会事務局発行

2025.02.20  
Vol.47

2月に入り、市内小中学校の本年度の学校運営協議会も今年度最後の開催をむかえています。今年度の学校運営協議会の運営や、コミュニティ・スクール（以下、CS）の取組の成果や課題を振り返り、次年度につなげていくことが大切です。

## 第2回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会開催

今回も山口県地域連携教育アドバイザー・木本育夫先生にお越しいただき、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」という演題でご講演をいただき、推進協議会委員及び各校参加者で意見交流をしました。以下、講演いただいた内容のポイントの一部、紹介します。



### ① CSと地域学校協働活動の一体的推進をするために

「一体的推進」とはCSの仕組みと、地域学校協働活動の様々な活動を連携させることです。それにより、それぞれがもつ役割が十分に機能し、相乗効果を発揮して、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が進んでいきます。そのためには、**学校目標や地域ビジョンの活動計画を共有し、「どんな学校を、どんな地域を創っていききたいか」をみんなで考える「熟議」の実施や成果をみんなで共有**することが重要です。

**最終の学校運営協議会では、学校はぜひ「子どもの姿容」を伝えてください。**  
CSの取組や地域学校協働活動を通して、「子どもたちがこう変わった!」ということを学校運営協議会委員全員で共有することで、「やって良かった」というそれぞれの自己有用感（やりがい）と、次への意欲につながります。

### ② 学校・地域連携カリキュラムとは

「社会に開かれた教育課程」の考え方をもち、学校と地域が連携・協働する教育活動を体系的に示したカリキュラム（全体計画）のことで、小学校と中学校で**9年間の子どもの学びの流れと「つきたい力」を明確に**しましょう。特に、**小中学校の接続の部分である高学年～中学校の取組を中学校区で一貫して進めていくことが**大切です。

次号では、木本先生の講演の中から、「**地域学校協働活動推進員**」について、お伝えします!

### ③ 学校運営協議会の活性化に向けて

名張市も昨年度から継続して、運営協議会に児童生徒の参加、教職員の参加が増えていきます。主体的・対話的な学校運営協議会のさらなる充実に向けて、木本先生に教えていただいた下記のチェック項目を活用し、自校の学校運営協議会を振り返りました。

#### 主体的・対話的な学校運営協議会の充実に向けて

##### ✓ 今年度の学校運営協議会を振り返ってみましょう

- 学校だけが資料を作成し、司会や提案の全てを行っていませんか。
- 委員全員で十分に議論しながら目標や組織を作っていますか。
- 学校は抱えている課題の情報を隠さず、委員と共有できていますか。
- 教育課程の編成や授業について、委員と一緒に協議する場がありますか。
- お互いの立場や考えを尊重し、委員は積極的な提案ができていますか。
- 学校運営協議会や熟議で決まったことを見える化して、日ごろから意識できていますか。
- 子どもたちの意見や考えを学校運営協議会に取り入れ、一緒に考えていますか。
- 委員は学校の取組を、積極的に地域に伝えていきますか。
- 成功体験や喜びを共有することにより、委員の充実度は高まっていますか。
- 委員全員で学校運営協議会のPDCAを行い、次年度への改善が行われていますか。

##### ☀️ 次年度の学校運営協議会活性化のための課題は・・・

### 寺子屋こもはら小学生版（行政報告より）

今年度の各学校の学校運営協議会では「子どもの居場所づくり」が話題に上がる学校が多くありました。薦原小学校でも、夏休みの子どもの居場所づくりについて学校運営協議会で議論し、それを受けて、昨年度から地域学校協働活動として「寺子屋こもはら小学生版」が始まりました。

この活動を通して、友だちや地域の方とつながり、感謝の気持ちをもつことや、学ぶ喜びや達成感を味わうことで主体的に取り組む意欲を育てるなど、**学校と地域がめざす子ども像をしっかりと共有して進めている取組**となっています。

寺子屋で  
みんないきいき  
「こもはらならでは」



